

東峰村 BRT 駅周辺整備計画基本構想

令和 5 年 3 月

東峰村

【目 次】

第1章 はじめに.....	1
1. 策定の背景と目的.....	1
2. 基本構想の位置づけ.....	2
3. 策定の流れ.....	5
4. 対象範囲.....	6
第2章 周辺概要整理.....	7
1. 東峰村の概要.....	7
2. アンケート調査.....	9
3. BRT 駅周辺の現状と課題.....	11
(1) 筑前岩屋駅及び棚田親水公園周辺.....	11
(2) 大行司駅.....	14
(3) 宝珠山駅.....	16
第3章 基本構想.....	18
1. 日田彦山線 BRT 全体の将来像.....	18
2. 各駅における整備コンセプトと基本構想.....	19
(1) 筑前岩屋駅及び棚田親水公園周辺.....	19
(2) 大行司駅.....	22
(3) 宝珠山駅.....	24
第4章 構想の実現に向けて.....	26
1. 協働の取り組み.....	26
2. スケジュール.....	26
資料編	
1. 基本構想策定に向けた協議概要.....	資-1
2. アンケート調査の詳細.....	資-15
3. パブリックコメントの実施.....	資-19
4. 用語解説.....	資-20



第1章 はじめに

1. 策定の背景と目的

JR 九州の日田彦山線は、筑豊地域や大分県日田市といった主要区間を連絡する基幹的な鉄道路線であり、通勤・通学の交通手段として利用されるとともに、地域のシンボルとしても親しまれていました。しかし、平成 29 年 7 月九州北部豪雨（以下「九州北部豪雨」という）により、添田駅以南で甚大な被害を受け、現在は添田駅から夜明駅の区間において不通となっています。九州北部豪雨以降、復旧に関する協議は県や JR、関係自治体により行われてきましたが、2020 年（令和 2 年）7 月に開催された「第 6 回日田彦山線復旧会議」において、関係自治体（福岡県・大分県・東峰村・添田町・日田市）と JR 九州の間で、彦山駅－宝珠山駅間を専用道とする BRT（バス高速輸送システム）で復旧することが合意されました。

BRT という新しい交通システムの導入を機に、沿線地域の持続的な発展を目指していくため、福岡県と東峰村、添田町が連携して「福岡県日田彦山線沿線地域振興計画」を策定し、地域の人口確保や域外から人（観光客、移住者）を呼び込むための魅力ある地域づくり、地域が潤う産業振興施策等を進めています。

本基本構想は BRT の運行を一つの契機として村民、事業者、行政などが連携して村づくりを進めるため、東峰村内に位置する BRT 駅周辺に必要な機能や役割を整理し、駅周辺の将来ビジョンを共有するとともに、将来的な整備の方向性を整理するものです。





2. 基本構想の位置づけ

本基本構想は「福岡県日田彦山線沿線地域振興計画」及び「第2次東峰村総合計画後期基本計画」を上位計画とし、村の持つ各種関連計画との整合をとりながら進めていきます。

(1) 「福岡県日田彦山線沿線地域振興計画

(2021年/福岡県日田彦山線沿線地域振興協議会)」

「日田彦山線沿線地域振興基本構想」をもとに、東峰村、添田町の観光振興、伝統産業の振興などを通じて経済の活性化を図り、地域の発展を目指すことを目的に策定されました。3つのテーマに分かれて、合計9つの重点プロジェクトが設定されており、それらに基づいて取り組みが行われています。

■重点プロジェクト

①地域の魅力を活かした地域振興・観光振興 【人が集まる拠点づくり】

方向性：BRTが運行する沿線において、人が集まる拠点を整備することで、新しい人の流れを創る。新たな拠点の整備により、人の流れを生み、周遊性、回遊性を高める。

主な取り組み：鉄道敷跡地の利活用、歴史・文化を活かしたまちづくりの推進及びこれを活かした観光の促進

(2) 「第2次東峰村総合計画後期基本計画（2020年/東峰村）」

村の最上位計画として2020年度（令和2年度）より運用されています。策定時はBRTでの整備が決定していなかったため、観光や交通の観点から関連のある事項をまとめます。

■第1章 1. 産業の振興 1-3 観光の振興 施策（2）観光資源の活用

①観光・レクリエーション施設の機能充実

・駐車場の整備 ・岩屋湧水の活用推進 ・JR めがね橋等の近代土木遺産の活用

②観光・交流施設の整備・活用

・新たな観光・交流施設の整備による集客力の向上

④地域資源のネットワーク化

・地域の観光資源を結ぶテーマ別観光ルートの設定

■第2章 1. 交通・通信体系の整備等 1-1道路・交通の整備等（3）公共交通機関の充実

①地域公共交通の充実

・利便性の高い交通システムの確立

③JR日田彦山線の早期の復旧



(3) 「東峰村復興計画（2018年/東峰村）」

九州北部豪雨からの復旧・復興に向けた安全・安心なむらづくりの指針として策定されました。

■復興の方向性 5 観光の振興 5-1 村のシンボル、観光拠点である観光交流施設の復旧・活用

- ・ 棚田親水公園やつづみの里、駅舎、いぶき館、ほうしゅ楽舎等の観光交流施設の復旧や新たな場所での再建に向け取り組むとともに、新たな観光資源の発掘や利活用を進める

(4) 「東峰村地域公共交通計画（2023年/東峰村）」

「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」に基づく法定計画であり、持続性の高い公共交通体系の形成と、それを支える体制の構築、育成を目的とします。2023年に開業予定のBRTの運行もふまえ、本村に最適な公共交通計画として策定されています。

【基本方針】

■方針Ⅰ：すべての人にとって使いやすい地域交通の形成

- ・ BRT開通を見据え、村外からの観光客にとっても使いやすい形でBRTを起点とした二次アクセスを整備する

■方針Ⅳ：地域のにぎわい創出につながるBRTの活用と公共交通の取組み推進

- ・ 九州初となるBRTを本村の観光資源として捉え、新しいサービスや新商品の開発を行う

【計画の目標】

■方針Ⅳ：目標2 BRTを観光資源と捉えた観光振興の推進

【目的を達成するための事業】

■事業⑥ AI活用型オンデマンドシステムの導入

- ・ AI活用型オンデマンドシステムを活用することで、原則として自由経路、自由ダイヤでの運行を行いながら、BRTのダイヤに合わせて駅舎に到着するよう運行管理を行い、BRTとの接続を確保する

■事業⑦ デジタルサイネージによる交通情報、観光情報の発信

- ・ 道の駅やBRT駅舎等の拠点施設にデジタルサイネージを設置し、交通情報や観光情報の発信を行う
- ・ 情報発信拠点としての機能向上のため、BRT駅舎については改築を検討する

■事業⑨ BRT等の交通資源を活用した新商品の開発

- ・ BRTを本村の新たな観光資源として捉え、新しいサービスや新商品の開発を行う



(5) 「東峰村 BRT 沿線景観整備計画 (2022 年/東峰村)」

日田彦山線沿線の豊かな里山の景観を新たな観光資源の一つとすることを目指し、豊かな里山の景観を有する現在の日田彦山線沿線の魅力や課題を調査し、樹木及び植物の植樹、植栽及び必要に応じた伐採を実施するための計画として策定されています。

- ・ 筑前岩屋駅周辺…既存のサクラ、ツツジの管理とシバザクラの植栽
- ・ 大行司駅周辺…紅葉樹の代表であるモミジ、ドウダンツツジやツバキの植栽
- ・ 宝珠山駅周辺…サクラの樹勢回復と補植、駅周辺ののり面に花々の植栽

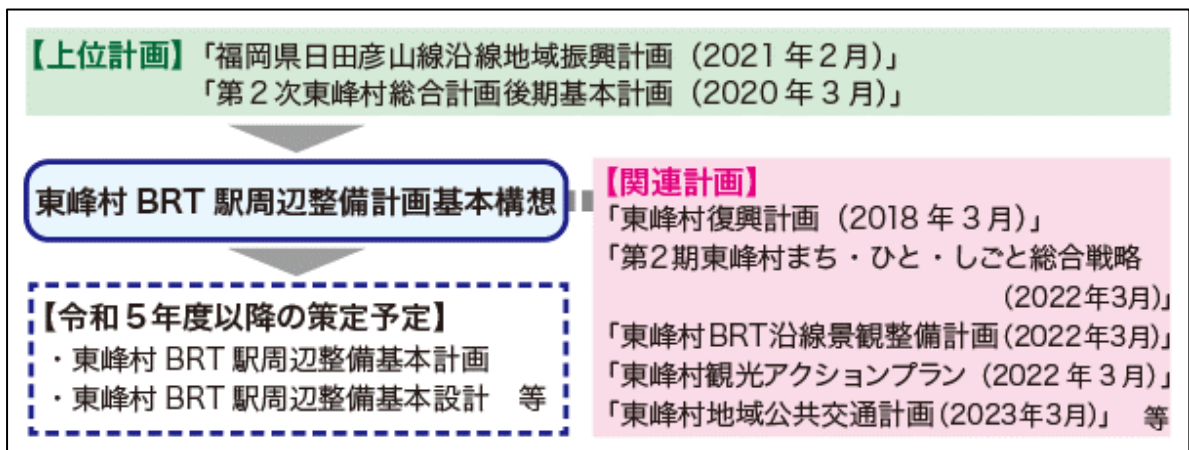
(6) 「東峰村観光アクションプラン (2022 年/東峰村)」

「福岡県日田彦山線沿線地域振興計画」に基づき、観光産業の振興により国内外からの交流人口をさらに増加させ、地域経済の活性化や雇用の場の確保につなげていくことを目指して策定されています。

■基本方針 2：情報発信の強化

- ③BRT開通を契機とした誘客拡大を図るため、県、添田町と連携した地域内の機運醸成や PR活動の検討及び展開

■上位・関連計画の関係





3. 策定の流れ

本基本構想は、住民ワークショップや東峰学園の児童生徒を対象とした子どもアンケート、イベント等による来訪者アンケートなどを行い、それらをもとに駅周辺及び沿線の整備について「東峰村日田彦山線沿線地域振興協議会」の協議を経て策定されました。



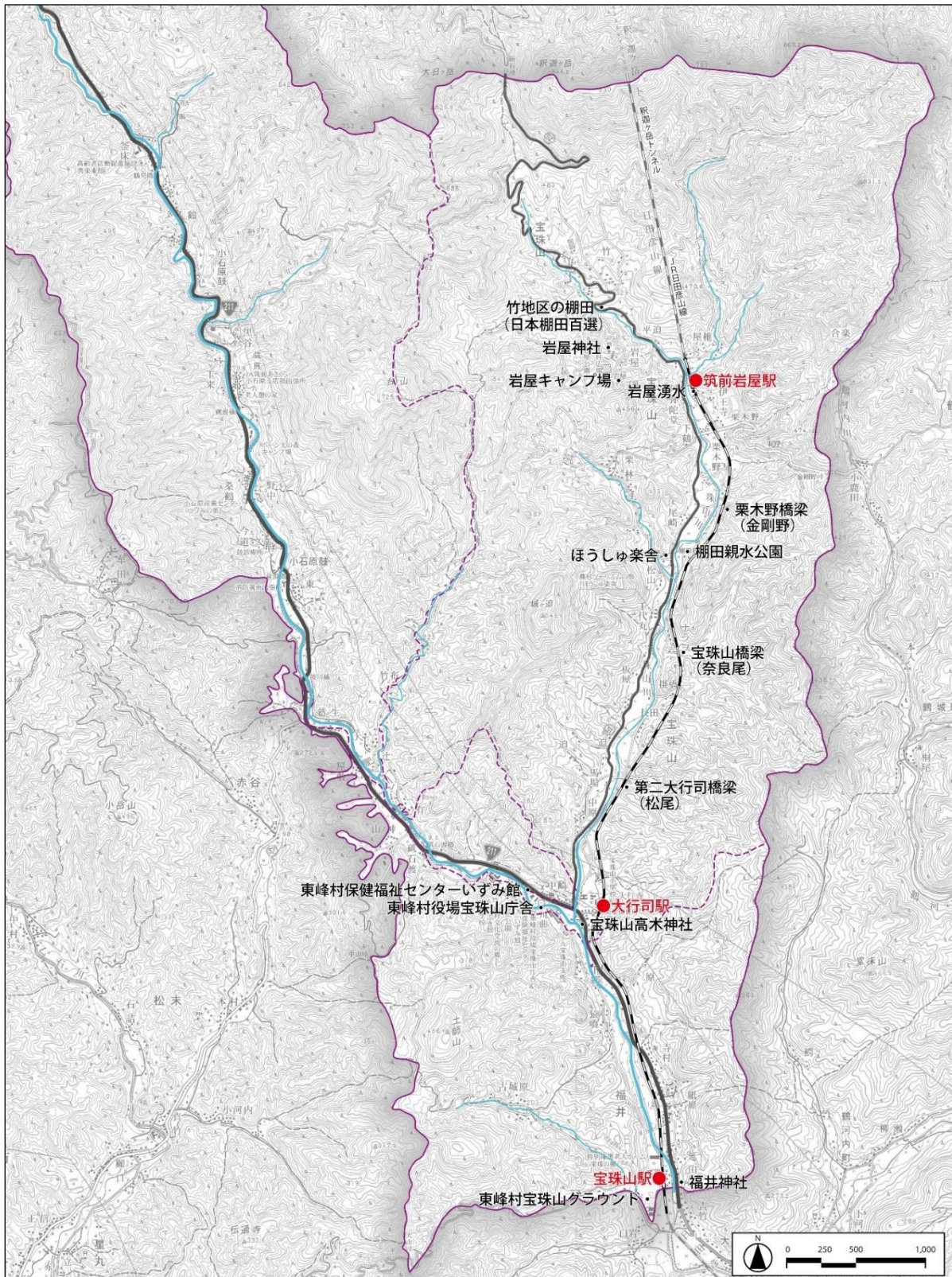
■策定スケジュール

年	月日	開催内容
2022年 (令和4年)	9月9日(金) 19:00~21:00	第1回東峰村日田彦山線沿線地域振興協議会
	9月27日(火) 15:00~17:00	協議会委員による現地視察
	9月27日(火) 19:00~20:30	第1回住民ワークショップ(意見交換会)
	10月20日(木)~10月28日(金)	東峰学園 子どもアンケート
	10月28日(金)~11月13日(日)	東峰村応援団対象アンケート
	10月30日(日)	JR九州ウォーキング2022秋参加者アンケート
	11月24日(木) 19:00~21:00	第2回東峰村日田彦山線沿線地域振興協議会
	11月29日(火) 19:00~20:30	第2回住民ワークショップ(意見交換会)
(令和5年) 2023年	1月17日(火) 19:00~21:00	第3回東峰村日田彦山線沿線地域振興協議会
	2月9日(火) 19:00~20:30	第3回住民ワークショップ(意見交換会)
	2月13日(月)~2月26日(日)	パブリックコメントの実施
	3月17日(金) 19:00~21:00	第4回東峰村日田彦山線沿線地域振興協議会



4. 対象範囲

本基本構想の対象範囲は村内の BRT 駅及び日田彦山線 BRT の沿線とします。





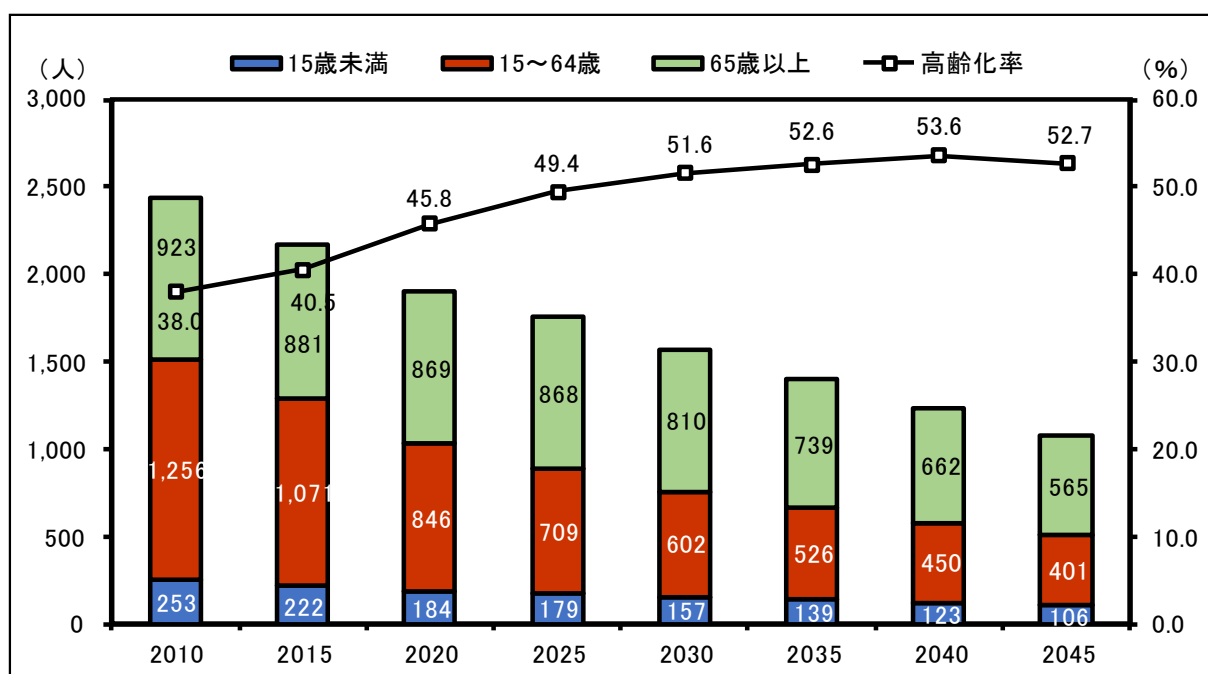
第2章 周辺概要整理

1. 東峰村の概要

(1) 人口

直近の国勢調査の実績値である2020年（令和2年）において、村の人口は1,899人であり、年々減少傾向となっています。さらに国立社会保障・人口問題研究所（以下、社人研）の推計によると、以下のグラフのように今後も人口は減少していくことが予想されています。

また年齢別にみると2020年（令和2年）時点で65歳以上の人口は869人、高齢化率は45.8%となっており、高齢化が進行しています。



「東峰村空家対策計画」より引用
2020年までは国勢調査の実績値、2025年以降は社人研の推計値

(2) 交通

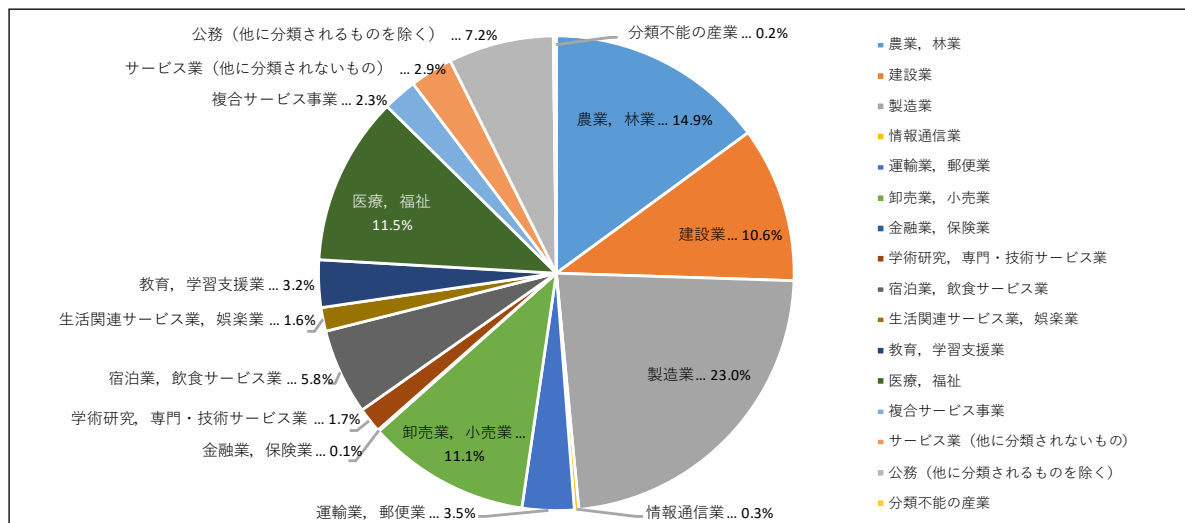
国道211号、国道500号、県道52号などが村内の基幹路線となっています。公共交通はJR日田彦山線が運休となって以降、JR代行バス及び西鉄グループの運用する路線バス、地域交通等となっており、多くの住民は生活のための交通手段として自家用車を利用しています。





(3) 産業

2020年（令和2年）の国勢調査を見ると、東峰村の就業人口は662人です。割合として最も多いのは製造業で、次いで農業・林業、医療・福祉となっています。福岡県全体でみると、第三次産業の割合が全体の7割以上を占めていますが、本村では第一次産業、第二次産業の2つで、全体の半数近くを占めているのが特徴です。



(4) 歴史・文化

村内には国の重要文化財に指定されている岩屋神社本殿をはじめとして、数多くの文化財や史跡、天然記念物が残されています。これらは東峰村の観光スポットとしても人気があります。



(5) 観光

村内には豊かな自然と美しい景観、そこで生まれた食や手仕事など魅力的な資源が数多くあります。特に近年では新型コロナウイルス感染症の影響もあり、アウトドアの需要の増加も言われていることから、キャンプ場等が多く立地する本村でも多くの利用客が訪れています。





2. アンケート調査

村外からの観光需要や子どもたちの意見を反映させるため、アンケート調査を実施しました。各調査の概要は以下の通りです。なお詳細については資料編に記載します。

(1) JR九州ウォーキング 2022 秋 参加者アンケート・東峰村応援団 団員アンケート

①概要

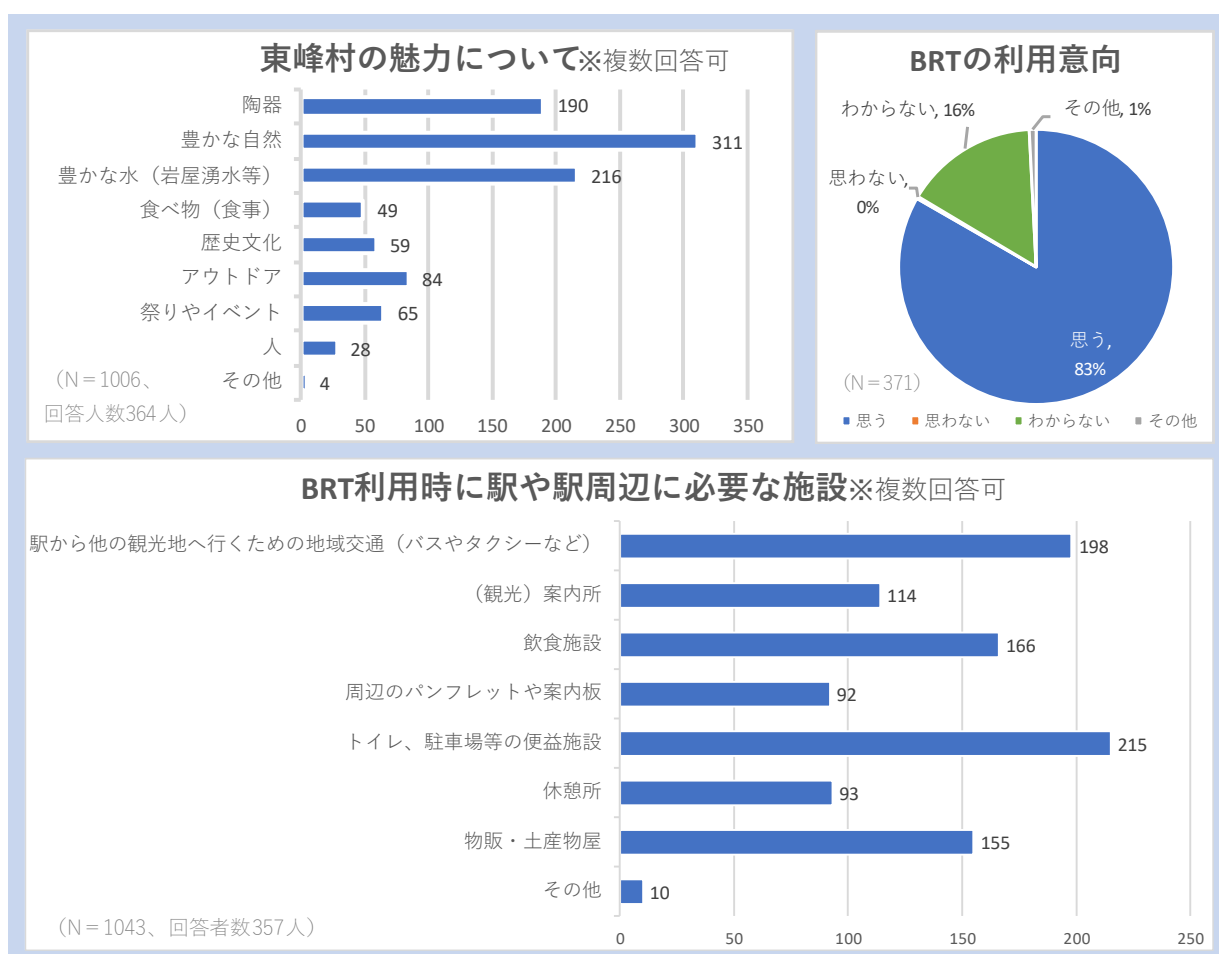
■期 間：2022 年（令和 4 年）10 月 28 日～11 月 13 日

（JR九州ウォーキングのアンケートは10月30日（日）のみ実施）

■回収数：376 件

②結果（一部抜粋）

JR九州ウォーキング参加者と東峰村応援団の団員に対してアンケート調査を実施しました。東峰村の魅力については豊かな自然や水、陶器が上位となりました。またBRTの利用意向では8割を超える回答者が開通したら乗ってみたいと思うと回答しており、関心の高さが伺えます。さらに観光の視点から駅に必要な施設としては駅から移動するための交通手段や、トイレや駐車場などの施設の回答が多くなっています。





(2) 東峰村立東峰学園 児童・生徒対象アンケート

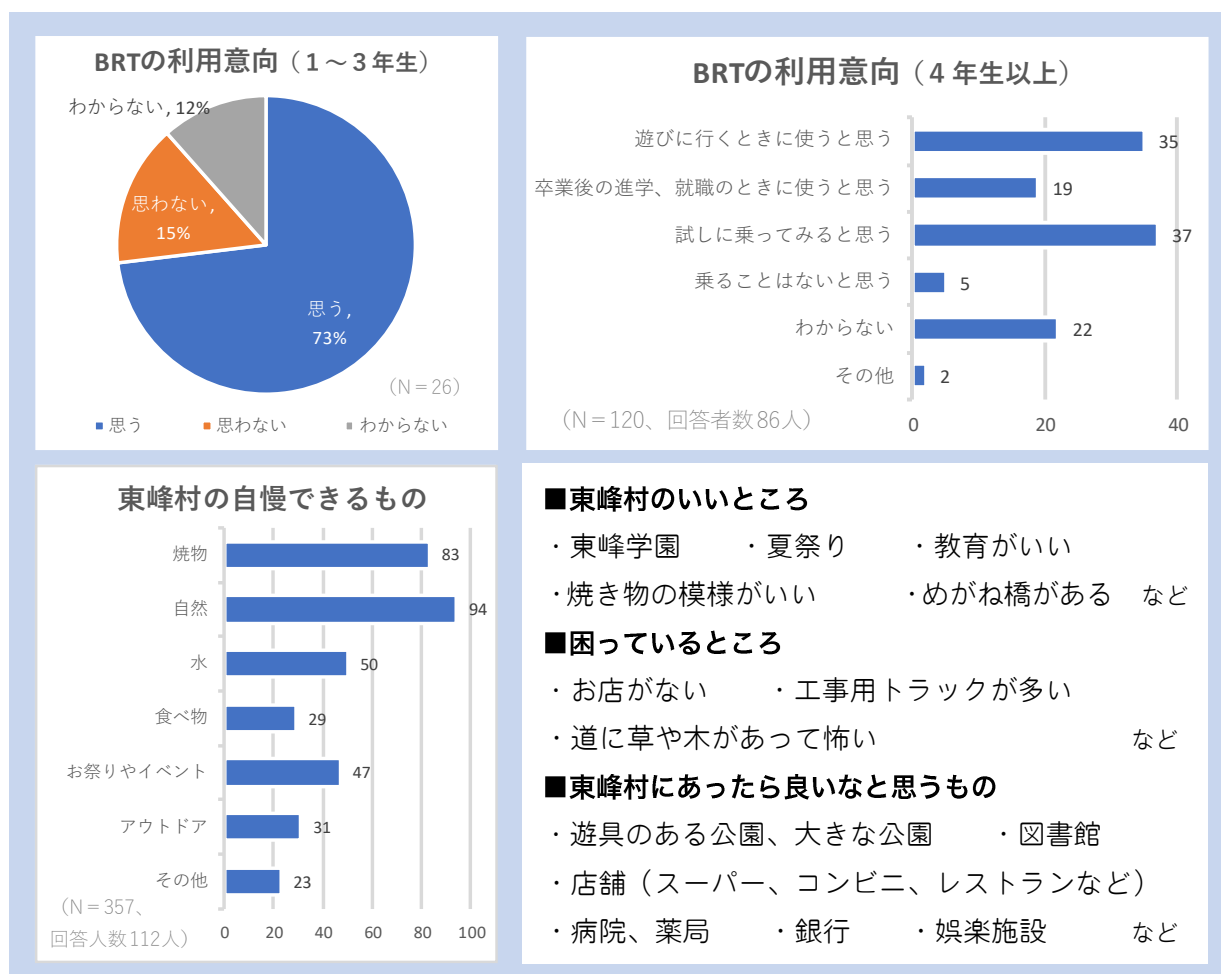
①概要

■期 間：2022年（令和4年）10月20日～10月28日

■回収数：112件

②結果（一部抜粋）

子どもたちの意見を取り入れるため、東峰学園の児童生徒を対象にアンケート調査を実施しました。利用意向については、1～3年生にはBRTが開通したら乗ってみたいか、4年生以上にはどのようなときにBRTに乗ると思うかを質問しました。どちらも乗ってみたいと思うという回答が多数であり、関心の高さが伺えます。また、子どもの目線からみた東峰村の自慢できるものについては、自然や水、焼物など、(1)の観光客向けアンケートと近い結果となりました。また、東峰村のいいところ、困っているところ、あったらいいと思うものを自由記述形式で回答してもらい、多くのご意見をいただきました。





3. BRT 駅周辺の現状と課題

現地調査や住民ワークショップ、アンケート調査等をもとに各駅とその周辺について現状と課題を整理します。

(1) 筑前岩屋駅及び棚田親水公園周辺

①概要

筑前岩屋駅は1956年（昭和31年）に日田線の彦山-大行司間の延伸に伴い開業しました。開業当時は有人駅でしたが、1971年（昭和46年）に無人駅となり、その後九州北部豪雨による被災のため、2022年（令和4年）現在も利用されないままとなっています。

駅の周辺には国の重要文化財に指定されている岩屋神社本殿をはじめとした文化財や、竹の棚田、岩屋湧水等の観光スポット、岩屋キャンプ場等のアウトドア拠点など多くの見どころがあります。さらにそれらを活用した季節のイベントが定期的に行われており、訪れる人を魅了しています。また沿線にはサクラ並木と広範囲にわたるツツジの植栽が行われており、春には美しい景観を見ることができます。

筑前岩屋駅から県道を南へ下ると棚田親水公園があり、夏季には宝珠山川の水を引き込んだ河川プールに多くの人が集まります。また、ほたる祭りの会場ともなっている他、2023年（令和5年）度には「ほうしゅ楽舎」の移転オープンが予定されており、これまで以上に人が集まるエリアになることが予想されています。



ほたる祭り



竹棚田のライトアップ

②現状と課題

筑前岩屋駅と棚田親水公園の周辺は3駅の中で一番観光資源に恵まれています。しかし、駅を中心とした周辺の観光拠点に対する案内や移動手段が不十分であり、その魅力を十分に生かすことができていないのが現状です。また、美しい景観を演出するサクラやツツジは定期的な管理が必要であり、それらが地域の負担になることが懸念されます。さらに、「竹地区棚田景観保全委員会」や「宝珠山ほたるを育てる会」など複数の団体があり、ヤマメ養殖・ワサビ栽培が行われるなど地域の活動が盛んであるため、それらをさらに活かすための取り組みや整備が求められています。

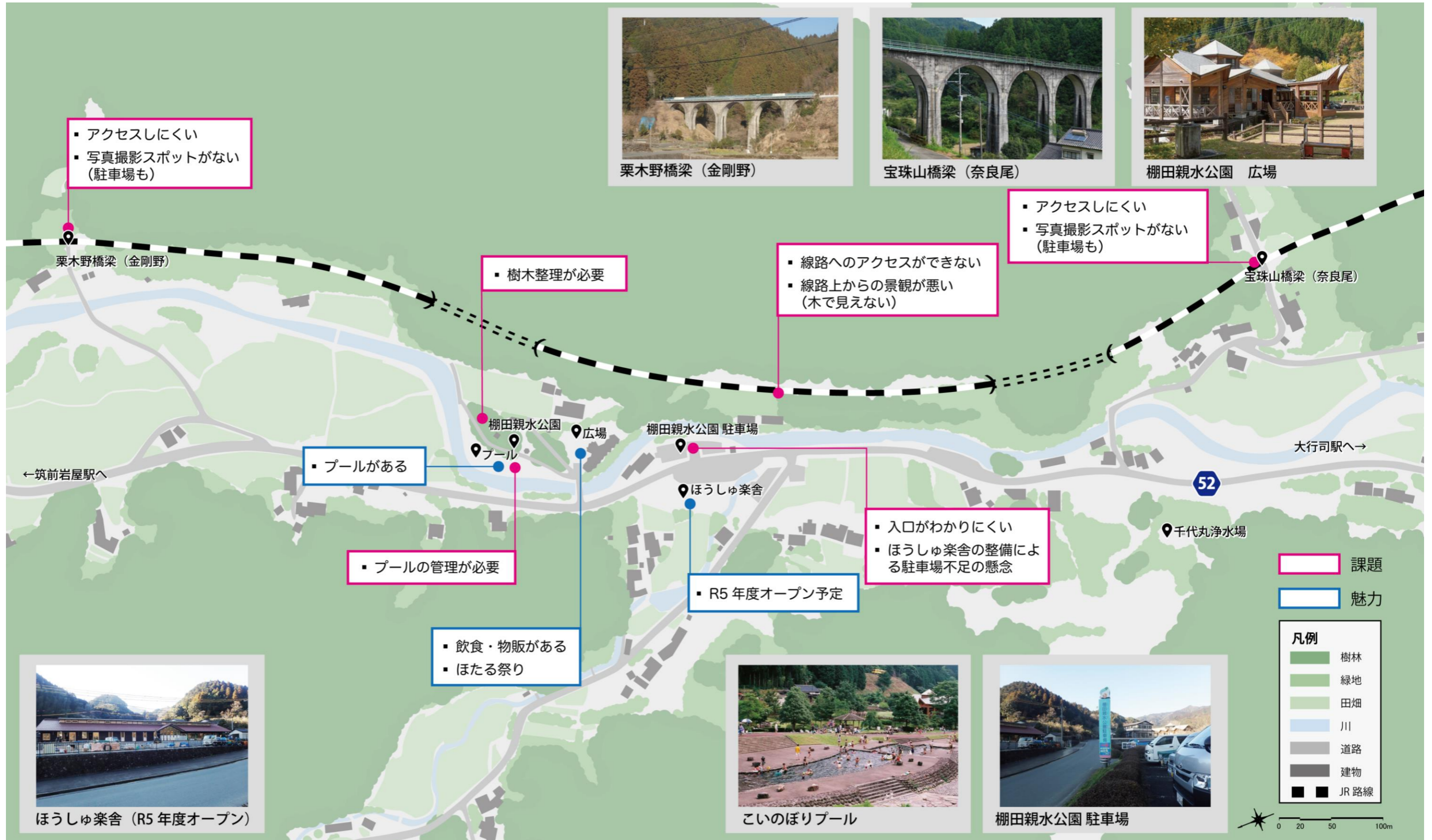


図：現状と課題（筑前岩屋駅周辺）





図：現状と課題（棚田親水公園周辺）





(2) 大行司駅

①概要

大行司駅は1946年（昭和21年）に彦山線の宝珠山-大行司間延伸に伴い開業しました。2001年（平成13年）に無人駅となったのち、2008年（平成20年）に駅舎は東峰村に譲渡され、一部は飲食店として営業されていきました。しかし、九州北部豪雨による土砂崩れで駅舎は倒壊、その後令和元年に駅舎の復旧工事が完了しましたが、現在は利用されていません。

東峰村の中心地に最も近い駅であり、周辺には東峰村役場宝珠山庁舎をはじめ、東峰村村民センター、東峰村保健福祉センターいずみ館、東峰村立東峰学園、東峰村立美星保育所などの行政機能、教育機関が集積しています。また高木神社をはじめとする文化財や、味噌醸造所、造り酒屋なども周辺に立地しており、そのコンパクトさから徒歩での観光も可能性を持っています。さらに駅とホームに高低差があることから、村内を見渡すビュースポットとしても期待されています。



被災前の大行司駅舎



高木神社

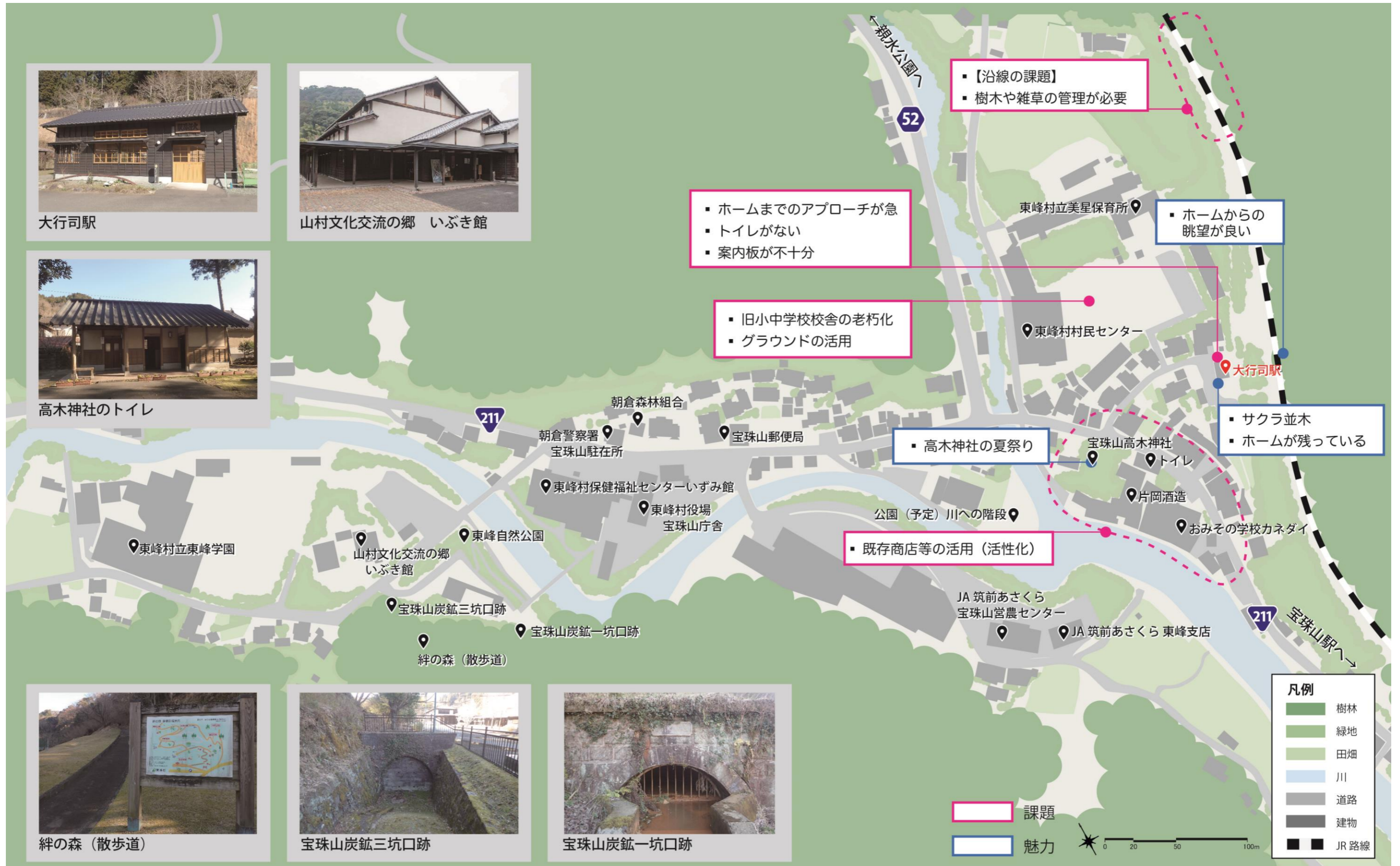
②現状と課題

大行司駅は3駅の中で最も村の中心部に近い駅です。九州北部豪雨以前は飲食店があったこともあり、地域の人が集まる賑わい拠点としての役割も果たしていましたが、現在は再整備された駅舎も活用されないままとなっています。また、トイレの整備がされていないこと、ホーム（乗り場）への高低差が大きく高齢者や体の不自由な方にとっては不便であることも公共交通としては大きな課題であるため、早急な対応が必要です。一方で、高低差があるという事は、眺望や景観の面では魅力であり、それを活かすための取り組みも検討する必要があります。

さらに、観光等での来訪者に向けては、周辺の旧宝珠山小学校グラウンドや既存商店等との連携を図るため、案内板等の設置を行う必要があります。



図：現状と課題（大行司駅）





(3) 宝珠山駅

①概要

宝珠山駅は1937年（昭和12年）に彦山線の夜明駅-宝珠山駅間の開通に伴い開業しました。1971年（昭和46年）に無人駅となり、さらに九州北部豪雨の影響で現在は駅としては利用されていません。九州で唯一プラットホームが県境をまたいでいる駅であり、県境の駅の碑が設置されています。駅舎は1998年（平成10年）に建替えられたもので、九州北部豪雨でも大きな被害は受けず、今に至っています。駅舎には福井地域のコミュニティセンターが入っている他、周辺には東峰村宝珠山グラウンド、木工塾などが立地し、地域の人が集まる場所となっています。また、沿線のサクラやフジなどの植栽も美しく、さらに宝珠山駅-大行司駅間は農地の中を走行するため、視界が開けるとともに四季折々の景観を楽しむことができます。



宝珠山駅



福井神社

②現状と課題

宝珠山駅には以前は遊具が設置されていましたが、現在は工事に伴い撤去されており、既存のゲートボール場も現在では利用者が少なくなっています。さらに木工塾の南側は竹林や雑草により活用が難しい状況になっていることから、駅を整備する上では、利用者のニーズを把握したうえで、一体的な整備と利活用の検討が求められています。

宝珠山駅は3駅の中で最も敷地が広く、さらに宝珠山グラウンドとも近接していることから、周辺整備により、さらなる活用が期待されます。県境の駅としてのPR、BRT専用道への入口としての表情づくりなどと合わせて検討を行う必要があります。



図：現状と課題（宝珠山駅）





第3章 基本構想

本基本構想は、『筑前岩屋駅及び棚田親水公園周辺』『大行司駅』『宝珠山駅』の3箇所を対象として作成し、それぞれの整備に対するコンセプトと基本構想を整理します。基本構想は、駅ごとの大きな整備の方向性を示すものですが、検討を進める中でより具体的な整備についての議論も多くあったことから、基本構想の中であわせてまとめることとします。

1. 日田彦山線 BRT 全体の将来像

日田彦山線 BRT の整備は『福岡県日田彦山線沿線地域振興計画』に即して実施されるものです。そのため本村の BRT 駅の共通将来像を「みんなの夢をのせて～持続的な発展と魅力ある地域づくりを目指して～」とします。



2. 各駅における整備コンセプトと基本構想

(1) 筑前岩屋駅及び棚田親水公園周辺

①整備コンセプト

『自然と水と歴史を楽しむ、東峰村の観光拠点』

筑前岩屋駅は岩屋神社や岩屋キャンプ場、岩屋湧水、棚田親水公園、竹棚田、登山口など周辺に観光に資する資源が多くあります。そのため、駅を拠点として東峰村の豊かな自然や水、歴史を楽しむことのできる周辺観光地への散策や、めがね橋等の写真スポットへのアクセスなどが可能となる整備を目指します。

さらに「棚田まもり隊」やツツジの地元管理などの活動も活発であることから、地域との連携も併せて取り組みます。

②基本構想

筑前岩屋駅は、周辺観光の拠点として必要な機能について、優先的に整備を行います。駅周辺での利便性向上や、観光拠点づくり、既存植栽の定期的な管理と更新を行い、さらには周辺観光拠点との連携を図るためのアクセス向上に向けた検討を行います。

また、棚田親水公園周辺においては、観光拠点としての賑わいづくりや、植栽の管理、めがね橋へのアクセス向上等に向けた検討を行います。

【周辺観光に資する整備：筑前岩屋駅（短期的に取り組むもの）】

- ・休憩施設の整備
- ・駐車場、駐輪場の整備
- ・サイン（案内、説明）の整備
- ・写真スポットの設定
- ・物販、飲食施設の設置検討
- ・レンタサイクルなどの周遊手段検討
- ・サクラ、ツツジの管理
- など

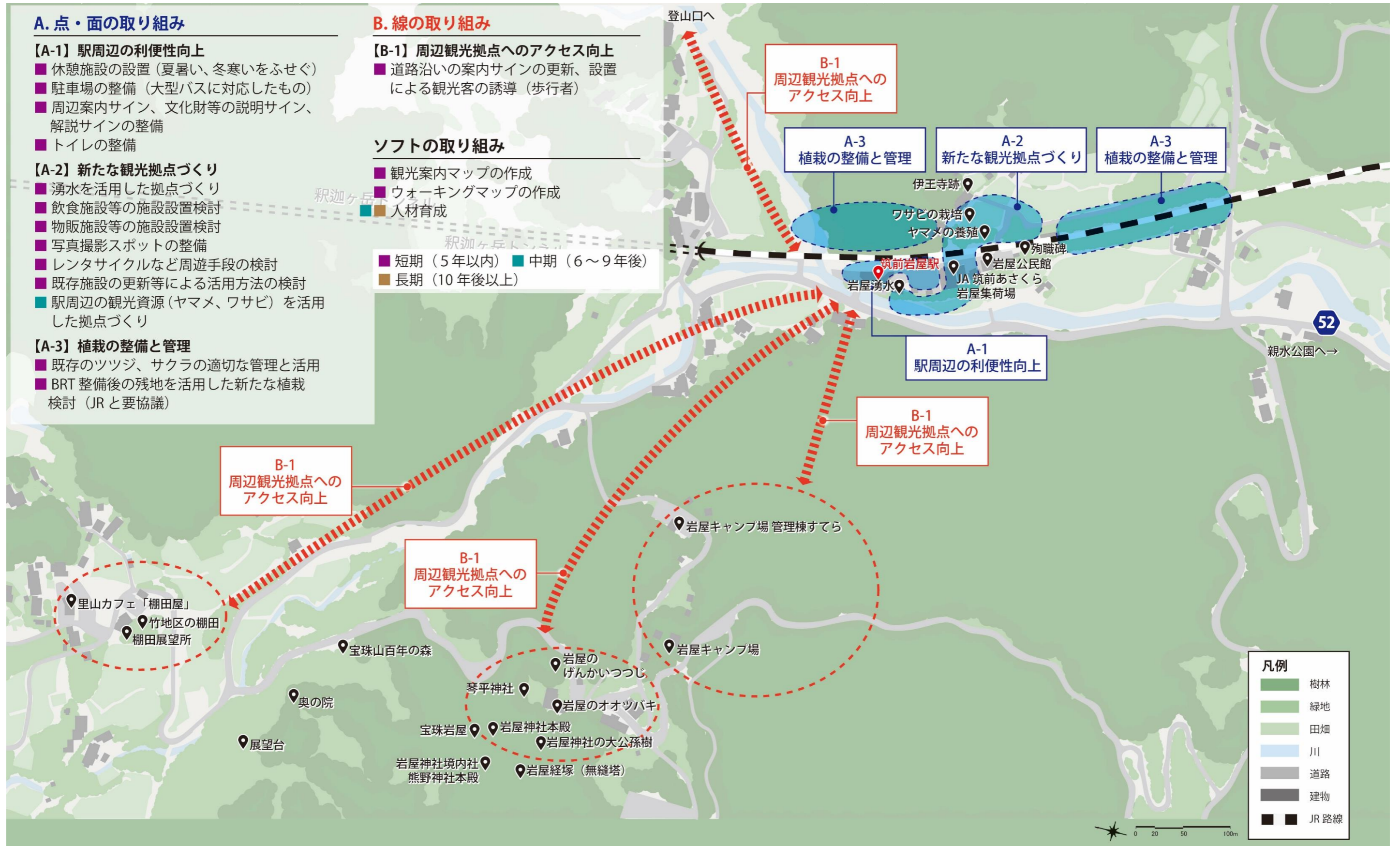
【周辺観光に資する整備：棚田親水公園周辺（短期的に取り組むもの）】

- ・こいのぼりプールの整備
- ・サインの設置
- ・写真スポットの設定
- ・植栽による景観整備
- ・施設の更新
- など

次ページの図面で場所ごとの整備イメージを整理します。



図：基本構想図（筑前岩屋駅）





図：基本構想図（棚田親水公園）





(2) 大行司駅

①整備コンセプト

『誰もが便利で使いやすい 東峰村の交通拠点』

大行司駅は東峰村の中心地に最も近い駅で、周辺には商店や住宅があり、日常的にBRTを使う上での利便性が高い駅となっています。また駅舎とホームの高低差があることが課題となる一方で、眺望景観や健康づくりなどそれが魅力につながる部分もあります。そのため、地域の人々の日常使いを中心に、東峰村の交通拠点としての利便向上を目指していきます。

②基本構想

大行司駅は、村民の方々の日常利用における利便性を優先に整備を行います。駅前空間の整備やホームの活用、商店等との連携等に取り組みながら、中長期的には旧小学校との連携やホームへのアクセス向上のための整備を行います。

【日常利用に資する整備】

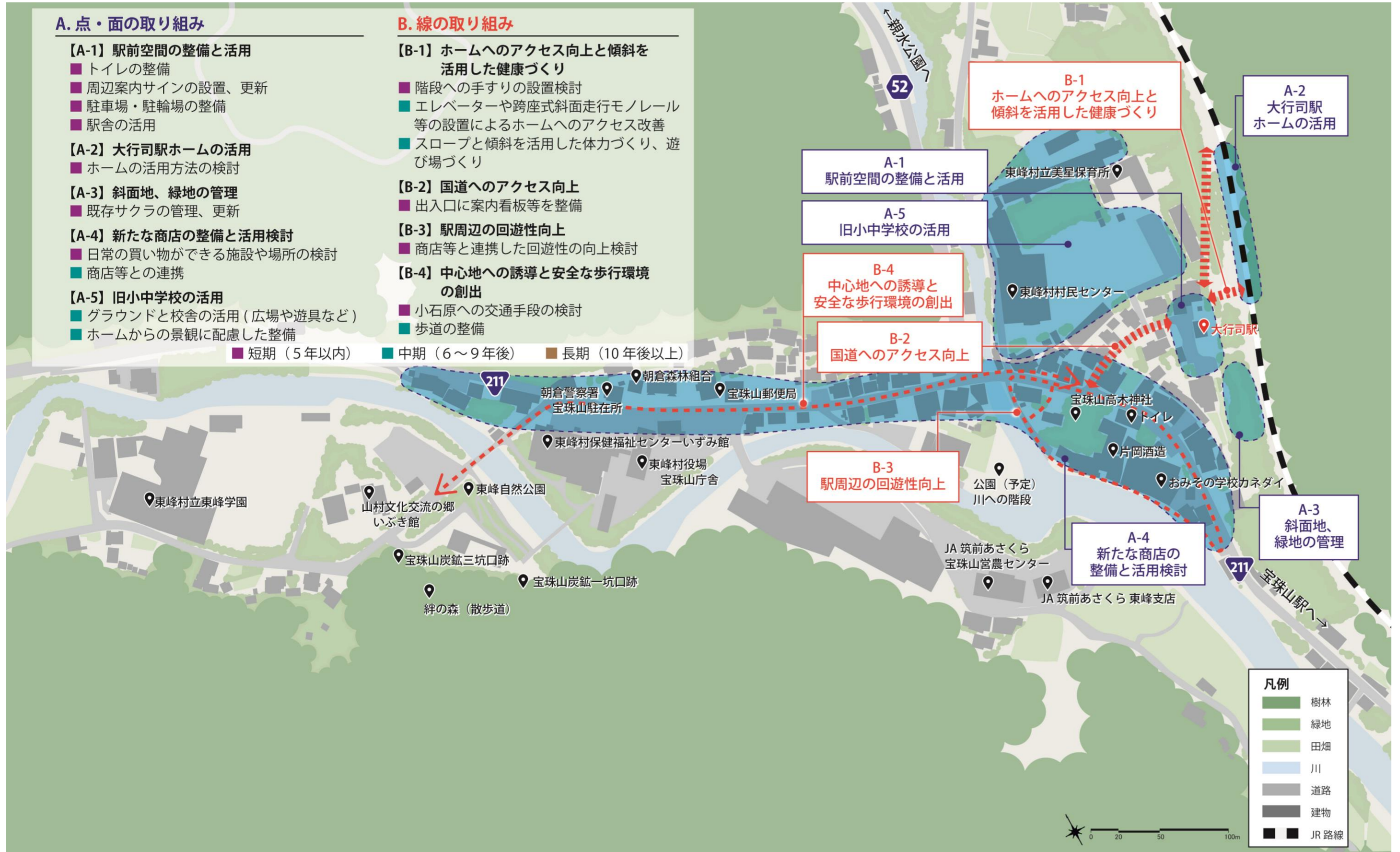
- ・トイレの整備
- ・駐車場、駐輪場の整備
- ・サインの整備
- ・駅舎の活用
- ・ホームの活用方法検討
- ・サクラの管理、更新
- ・小石原への交通手段の検討

など

次ページの図面で場所ごとの整備イメージを整理します。



図：基本構想図（大行司駅）





(3) 宝珠山駅

①整備コンセプト

『誰でも楽しい！県境の駅』

宝珠山駅は広い敷地や近接する宝珠山グラウンドとの連携により賑わい拠点としての可能性を持っています。また、BRT 専用道への出入口であるということや県境の駅であるということ、桜並木や大行司駅へと向かう中での美しい農の景観など、周辺ではなく BRT と駅そのもので楽しむことができる要素が多くあります。そのため、美しい景観を維持しつつ、子どもから大人まで誰もが楽しむことのできる駅を目指します。

②基本構想

宝珠山駅は、広い敷地を活用し、駅そのものと BRT で楽しむことができる整備を行います。駅前空間の賑わいづくりや、県境の駅としての活用、隣接する宝珠山グラウンドとの連携等を図るとともに、植栽の管理と整備や雑種地の景観整備を行い一体的な整備を行います。

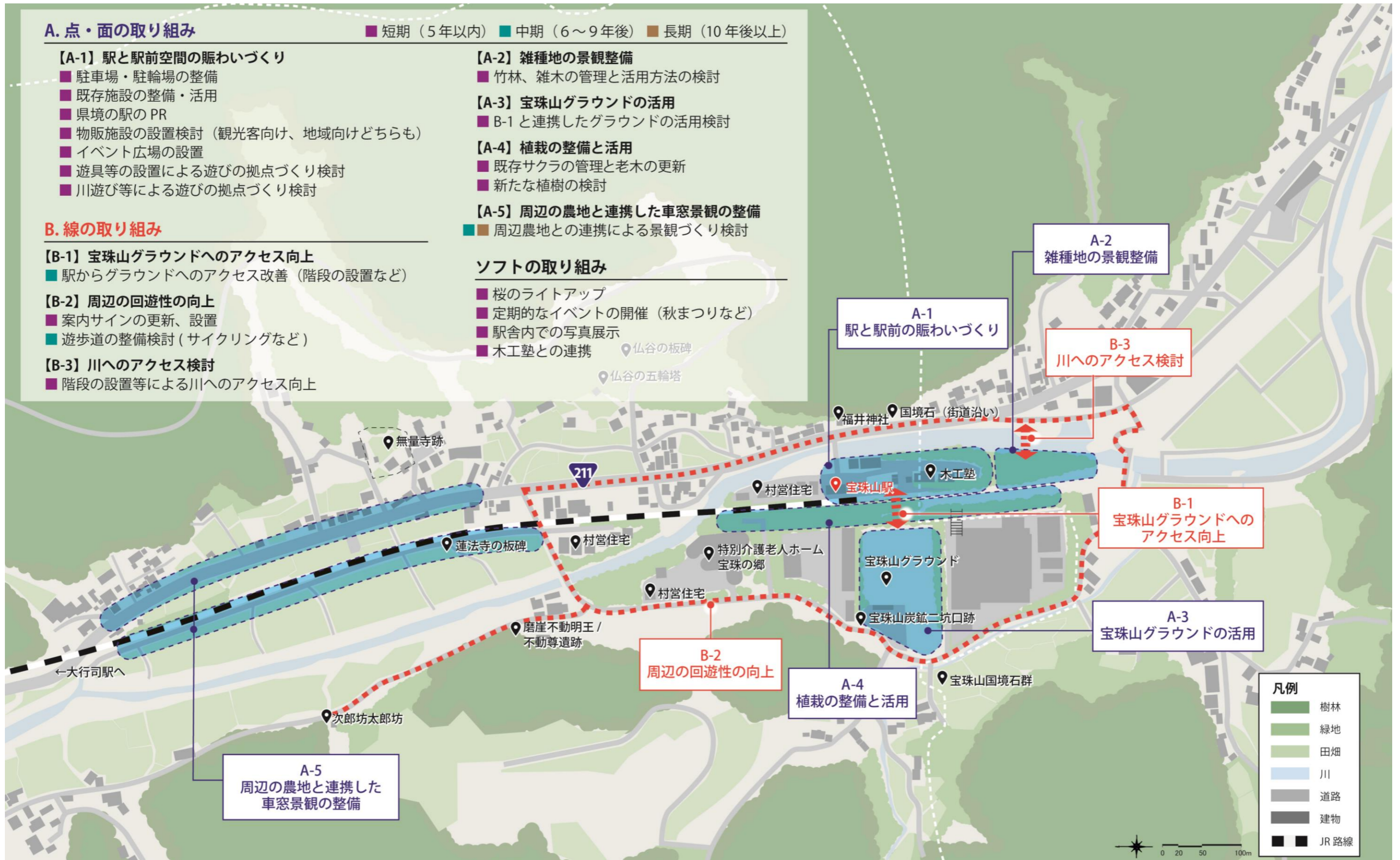
【駅と BRT で楽しむ整備】

- ・ 駐車場、駐輪場の整備
- ・ 既存施設の整備、活用
- ・ 県境の駅の PR
- ・ 物販施設の設置検討
- ・ イベント広場の設置
- ・ 遊具等の設置
- ・ 植栽の管理、更新
- ・ サインの設置
- など

次ページの図面で場所ごとの整備イメージを整理します。



図：基本構想図（宝珠山駅）

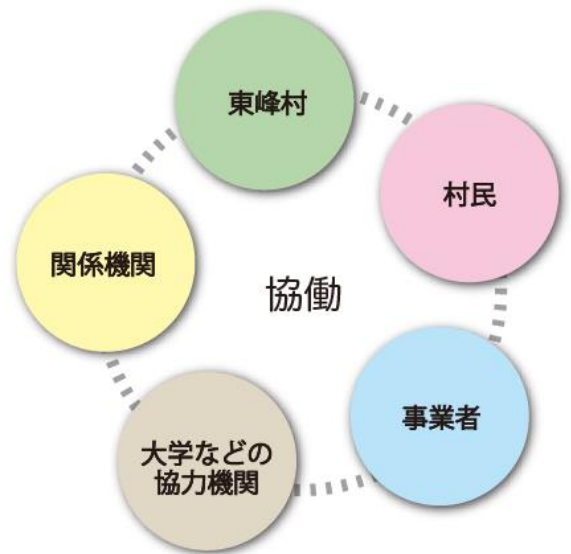




第4章 構想の実現に向けて

1. 協働の取り組み

基本構想の実現には、村民、事業者、行政等の連携と協働により取り組むことが重要です。村においては関連計画との調整、村民が活動に協力しやすい環境づくり等に努めるとともに、村内の事業者や関係機関、協力機関等との連携を図りながら計画を推進していきます。また、本基本構想に基づく整備は、日田彦山線 BRT 開業後も継続して実施していくものであることから、適切な情報公開に努め、必要な協力体制の構築を図ります。



2. スケジュール

本基本構想に基づく整備スケジュールは以下の通りです。ただし他の計画との連携等により変更になる可能性があります。

	2022年度 (R4年度)	2023年度 (R5年度)	2024年度 (R6年度)	2025年度 (R7年度)	2026年度 (R8年度) 以降
基本構想	■				
基本計画		■			
実施計画・実施設計			■		
整備		■	■	■	■
ソフトの取り組み		■	■	■	■

資料編



1. 基本構想策定に向けた協議概要

(1) 日田彦山線沿線地域振興協議会

① 委員名簿

学識経験者、村民代表、関係機関、庁内の関係者など15名で構成されます。

	氏名(敬称略)	所属等	備考
1	眞田 秀樹	東峰村長	会長
2	柴田 久	福岡大学 工学部 社会デザイン工学科 教授	副会長 学識経験者
3	菅 義範	東峰村副村長	
4	縄田 淳一	東峰村教育委員会教育長	
5	伊藤 均	東峰村議会代表 議長	
6	黒川 隆康	東峰村議会代表 副議長	
7	井上 伍郎	東峰村区長会 代表	
8	仲道 優	東峰村区長会 代表	
9	田中 康和	東峰村老人クラブ連合会代表 会長	
10	井上 大祐	東峰学園PTA代表 副会長	
11	片岡 拓之	東峰村沿線地域住民	
12	佐々木 啓二	東峰村沿線地域住民	
13	和田 将幸	東峰村沿線地域住民	
14	和田 徹	福岡県 政策支援課 地域政策監	
15	上村 寿志	九州旅客鉄道株式会社 総合企画本部地 域戦略部 担当課長	オブザーバー

②事務局

	氏名(敬称略)	所属等	備考
1	岩橋 一成	ふるさと推進課 課長	
2	矢野 正己	ふるさと推進課 課長補佐	
3	和田 勲	ふるさと推進課 係長	
4	池田 啓讓	ふるさと推進課 主査	



②協議概要

【第1回：2022年（令和4年）9月9日（金）19：00～】

開催場所：東峰村役場宝珠山庁舎 第3会議室

- 内 容：①委員紹介 ②会長・副会長の選出
③BRT 駅周辺整備計画基本構想の策定について
④スケジュールについて ⑤住民ワークショップの開催について

【第1回（現地視察）：2022年（令和4年）9月27日（火）15：00～】

開催場所：筑前岩屋駅、大行司駅、宝珠山駅

- 内 容：現地視察、JR九州担当者より工事概要の説明

【第2回：2022年（令和4年）11月24日（木）19：00～】

開催場所：東峰村役場宝珠山庁舎 第3会議室

- 内 容：①第1回協議会のご意見ご質問と対応方針
②令和3年度以降の事業実施状況報告
③BRT 駅周辺整備計画基本構想について
・アンケート調査結果 ・第1回WSの概要と成果及び第2回WSの予定
・事例紹介
④今後のスケジュールについて

【第3回：2023年（令和5年）1月17日（火）19：00～】

開催場所：東峰村役場宝珠山庁舎 第3会議室

- 内 容：①第2回協議会のご意見ご質問と対応方針
②BRT 開業に向けた事業の進捗報告
③BRT 駅周辺整備計画基本構想について
・アンケート調査の詳細分析 ・基本構想案について
・第2回WSの概要と成果及び第3回WSの予定
④今後のスケジュールについて

【第4回：2023年（令和5年）3月17日（金）19：00～】

開催場所：東峰村役場宝珠山庁舎 第3会議室

- 内 容：①第3回協議会のご意見ご質問と対応方針
②パブリックコメントの結果について
③BRT 駅周辺整備計画基本構想について
・第3回WSの結果について ・基本構想案、概要版について
④来年度以降のスケジュールについて





(2) ワークショップ（日田彦山線BRT 駅周辺整備計画基本構想 意見交換会）

【第1回】

開催日時：2022年（令和4年）9月27日（火）19：00～

開催場所：東峰村保健福祉センター いずみ館多目的ホール

- プログラム：1. BRT 駅周辺整備基本構想とは
 2. ワーク「駅周辺の魅力と課題を考えよう」
 3. 発表

概要の説明

BRTの整備について(JR九州)

- ・ 令和5年度運行開始予定
- ・ 彦山駅～宝珠山駅間が専用道、それ以外は一般道を走行
- ・ 愛称は「BRTひこぼしライン」（正式名称：日田彦山線BRT）
- ・ コンセプト「ひと、地域、みらいにやさしい」




※画像等についてはJR九州HPより引用

概要の説明

今後の展開

現在



R4年度 整備基本構想策定 → R5年度 整備基本計画策定予定 → R6年度以降 整備基本設計・実施設計及び整備予定

概要の説明

BRT駅周辺整備計画基本構想とは

- ・ 「福岡県日田彦山線沿線地域振興計画」を上位計画として、村内のBRT駅周辺について整備計画を策定するための基本的な考え方や方針を整理する

①各駅の概要整理
 ②魅力的な駅・沿線とするための現状と課題の整理
 ③沿線を含めてより魅力を高めていくための全体方針設定
 ④駅周辺住民や駅利用者の利便性向上と、活気や賑わいにつなげるための駅ごとの機能検討、コンセプト検討

概要の説明

沿線と駅周辺の現状

筑前岩屋駅～めがね橋(金剛野)～めがね橋(奈良尾)



ワークでは皆さんが考える駅周辺の魅力や課題について考えていただくと共に、現状で取り組んでいる事や観光などで東峰村を訪れる方へのおすすめポイント（見てほしい、体験してほしい、食べてほしいなど）も出し合っていました。





■成果





■成果（ワークショップニュース）

村のいいところ、がんばっていること

魅力 めがね橋（奈良尾） 筑前岩屋駅のサクラ 岩屋神社の景観	地元の取組み 農産加工 岩屋おこし みそ、柚子胡椒生産 わさび栽培 ヤマメの養殖 鬼火たき ツツジの植栽管理	観光おすすめ キャンプ（棚田など） トレッキング 棚田周辺ウォーキング 岩屋神社修験体験 いなか料理 めがね橋 パワースポット	魅力 めがね橋（大行司駅） 大行司駅のサクラ きずなの森 弓道場 川の石垣巡り 河川公園 川遊びができる 見晴らしがいい	地元の取組み 大行司駅の草刈り 大行司駅舎の活用 大行司トイレの清掃 防災ボランティア研修（林業センター） 高木神社夏祭り	観光おすすめ 川沿いの石垣巡り 高木神社の雰囲気（見つかった石碑） 大行司駅から醤油屋さん・酒屋さんへの特産品巡りコース ホームから見渡せる大行司エリアの風景
魅力 大行司駅（宝珠山駅） 宝珠山駅のサクラ 福井神社	地元の取組み 駅周辺の草刈りなど 美化活動	観光おすすめ 木工塾 桜並木 花見（グラウンド&駅周辺の桜） 国道でBRTと並行して走れる 高菜まんじゅう屋さん 駅前福井神社の歴史→ウォーキングで阿蘇4火砕流現地への散策	魅力 大行司駅（宝珠山駅） 宝珠山駅のサクラ 福井神社	地元の取組み 駅周辺の草刈りなど 美化活動	観光おすすめ 次郎坊、太郎坊 不動明王

次回のご案内

第2回意見交換会（ワークショップ）

日時 令和4年 11月29日(火)、19:00～

場所 東峰村保健福祉センター
いずみ館大ホール

ワーク ・あったらいいなこんなもの
・整備コンセプトを考えよう

対象 東峰村民の皆様

申込 事前申込不要
(当日、直接ご来場ください!!)

※新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、当日は、マスクの着用・手指の消毒を行い、体調の悪い方（発熱、風邪症状等）は、参加をお控えください。ご協力をお願いいたします。

きてね!
前回参加してくれた人も。
来れなかった人も。
ご近所さん・お友達を
誘ってきてね!



日田彦山線BRT駅 周辺整備計画基本構想

ワークショップ ニュース vol.1

開催 令和4年9月27日(火) 19:00～
東峰村保健福祉センター いずみ館大ホール



令和4年9月27日に第1回BRT駅沿線整備基本構想のワークショップを開催しました。この基本構想は来年夏のBRT運行開始に向けて、駅周辺整備の方向性を検討するものです。今回のワークショップには38人の方にご参加をいただき、駅周辺の魅力や課題についてたくさんのご意見をいただきました。



資料説明

パワーポイントで説明をしました

概要の説明

BRTの整備について(JR九州)

- 令和5年度運行開始予定
- 彦山駅-宝珠山駅間が専用道、それ以外は一般道を走行
- 愛称は「BRTひこぼしライン」(正式名称：日田彦山線BRT)
- コンセプト「ひと、地域、みらいにやさしい」

※画像等についてはJR九州HPより引用

概要の説明

BRT駅周辺整備計画基本構想とは

- 「福岡県日田彦山線沿線地域振興計画」を上位計画として、村内のBRT駅周辺について整備計画を策定するための基本的な考え方や方針を整理する

- 各駅の概要整理
- 魅力的な駅・沿線とするための現状と課題の整理
- 沿線を含めてより魅力を高めていくための全体方針設定
- 駅周辺住民や駅利用者の利便性向上と、活気や賑わいにつなげるための駅ごとの機能検討、コンセプト検討



筑前岩屋、大行司、宝珠山の3テーブルでワークしました

全部のテーブルを回りながら色々な人と意見交換しました

●当日のプログラム

1. BRT 駅周辺整備基本構想とは
2. ワーク「駅周辺の魅力と課題を考えよう」
3. 発表

ワークでは皆さんが考える駅周辺の魅力や課題について考えていただくと共に、現状で取組んでいる事や観光などで東峰村に訪れる方へのおすすめポイント(見てほしい、体験してほしい、食べてほしいなど)も出し合っていました。

次ページ ▶ ワーク意見まとめ

● 筑前岩屋駅

- 湧水に来る人は多いが、周りにお金を落とすところがない
- 駅の顔、第1印象をよくする

- ツツジの管理に対する地元の負担軽減
 - J R土羽のツツジの保全
-
- 登山道の整備
 - 休憩スポット整備
 - 温泉（冷泉）活用
 - J A加工場の外装を整え、軽喫茶と野菜・朝市などの機能を整備する
 - 英彦山を含めた観光周遊ルートを検討
 - 英彦山、岩屋神社、湧水、日田などと連動した観光復興
 - 筑前岩屋駅と周辺の再整備

必要なこと

その他意見

- バスの停車時間を多めにとってほしい

3 駅・沿線の共通意見

- 日田彦山線沿線の山の手入れが必要（場所によっては不気味）
- 特産物生産者が減っている
- 高齢化、跡取り不足による農地の荒廃を止める必要がある
→ 集落の景観としてみんなで守り・つくる意識を
- 空き家対策
- 移住、定住対策が必要
- 若い人が望む最低限の条件を整える必要がある（人・モノ）

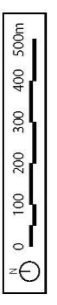
課題

- 村内外の人々が楽しめる地域づくり
- 地域資源を活用した商品開発
- トイレ・公園の整備
- 安全に一休みできる場所を増やす
- 高齢者も利用しやすい整備を
- 歩道をしっかりつなげて、村内をゆっくり歩いて回れるように散歩道（コース）を整備する
- 駅周辺の見どころや観光スポットをマップにしてほしい（散策マップの作成）
- 村内観光用に案内表示板や史跡・遺構などの説明板が必要
- 3 駅にある近辺の神社などを整備し、それぞれの見どころを紹介して乗降客を確保しては
- 3 駅周辺に人が集まり飲食できる場所をつくり、運営する人を村内外から募集したら
- 屋台やフリーマーケットの誘致
- ジビエ肉（鹿など）を加工して販売できないか
- バスから見えるところ（沿線）に季節ごとの花（アジサイ、モミジ、サクラなど）を植えて楽しませる
- 美しい自然（花や木々）があると人は集まってくるので大切
- J Rの枕木やレールを3 駅にオブジェとして置く
- 駅舎内でうどん屋さん

必要なこと

- 観光スポットが岩屋地区にしかなく、宝珠山側にはないので残念
- 空き家の植木や育ち過ぎて困っている植木を再利用しては
- 放置されている梅がもったいない
- 今の風景をいかに残すが大切
- 単身者用の住宅
- コンビニ

その他意見



その他意見

- 湧水くみ場の横の倉庫が使われていない
- 湧水がお湯の時がある

必要なこと

- 岩屋駅〜竹まで（電動）自転車整備
- 撮影スポットの整備

必要なこと

- フットパスの整備
- 古民家の保存

課題

- 景観ににくい
- 道路の街灯が少ない
- 電線電柱の撤去

● 大行司駅

- 息が切れそうな上り道
- 駐車場が少ない

- トイレが出来るまで高木神社への案内板が必要
- 駅舎の利用
- 駅舎内でお土産屋さん（チャレンジショップ）
- 小石原焼を使った蒸しプリンなどの販売
- ホームを整備して歩けるように
- 楽にホームに行けるように

必要なこと

- 健康増進コーナー
- 大行司駅までの道のりをトレニング階段に
- 旧中学校舎跡の活用
- 旧小学校舎の活用
- 旧宝珠山小学校を図書館に。+ 他教室、大人の学校
- プールの活用
- 合宿の誘致（村民センターの活用）

その他意見

- 地域で買い物とができるようにお店がほしい

課題

- 大行司商店街のリノベーション、旧店舗の活用

その他意見

- グラウンドで、かたら祭の復活

● 宝珠山駅

- J R沿線の法面などの管理（主に草刈り）をJ Rが行うのか？ 地元の活用も含め考えおく必要がある
- 駅は村の顔で第一印象を決定づけるので、清掃や生き生きとした表情づくりが大切

課題

- 開業当時の駅のイメージを表現する
- 県境のPR（県境のあるホーム）
- 公園の整備：こども用遊具、健康遊具、パークゴルフ、自パークゴルフ、自転車などのオフロードコース、スケートボードなどができる施設をつくる
- 電線電柱をなくしてほしい
- 藤棚の活用
- 観光利用の大型バスの乗り入れと駐車場
- 木工塾の活用
- 駅にコミュニティセンター
- グラウンドの活用（サクラなど季節のイベントなど）

必要なこと

- 西念寺の近くのガード下が狭い、高さが低い

その他意見

- 県境（市町村境）が分りにくい





【第2回】

開催日時：2022年（令和4年）11月29日（火）19：00～

開催場所：東峰村保健福祉センター いずみ館多目的ホール

プログラム：1. 情報提供（アンケート調査報告、事例紹介）

2. ワーク ①あったらいいなこんなもの

②整備の優先度をつけてみよう

③駅ごとの整備コンセプトを考えよう

3. 発表

アンケート調査結果			
■アンケート概要			
	JR九州ウォーキング 2022秋 参加者アンケート	東峰村応援団 会員アンケート	東峰学園 こどもアンケート
期間	令和4年10月30日	令和4年10月28日 ～11月13日	令和4年10月20日 ～10月28日
対象	ウォーキング参加者	東峰村応援団会員	東峰学園児童・生徒 全員
実施 方法	会場で直接 配布・回収	メールによる webアンケート	学園を通じての 配布・回収
配布数 回収数	回収数：362件	配布：118件 回収：15件 (回収率：12.7%)	配布：116件 回収：112件 (回収率：96.5%)

事例紹介

事例④駅周辺社会実験

ワーク：駅周辺に必要な機能を考えよう

話し合う内容

①あったらいいなこんなもの
～駅に必要な施設や機能を考えよう～
→付箋に書いてどんどん貼っていきましょう

②整備の優先度をつけてみよう
→①が終わったら5つまで選んでペンで印をつけてください

③駅ごとの整備コンセプトを考えよう
→どんな駅になったらいいか、話し合っただけで枠の中に書いてください

ワーク：駅周辺に必要な機能を考えよう

①あったらいいなこんなもの ～駅に必要な施設や機能を考えよう～

【考え方の視点】

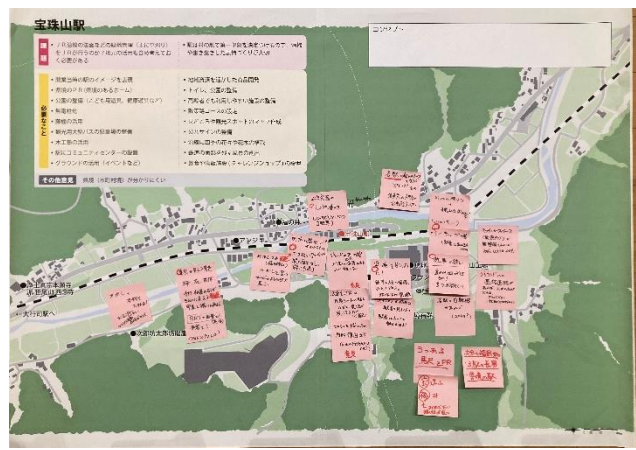
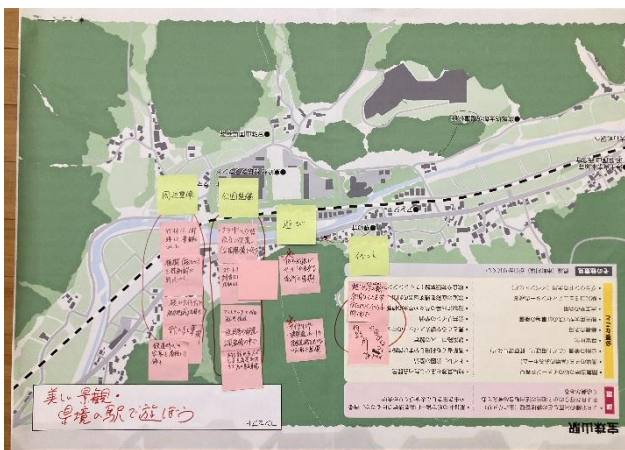
1. 観光の視点で考えよう
2. 生活の視点で考えよう
3. やりたいことで考えよう

前回のワークショップで出していただいた魅力と課題を念頭に置いて、各駅に必要な施設や機能を整理し、その優先度をつけていただきました。また、駅ごとにどんな駅になったら良いかコンセプトを考え、生活・観光など色々な視点から話し合っていました。





成果



整備の優先度

（棚田親水公園）
筑前岩屋駅

1班

- 案内サインの設置（村内案内図、観光案内図、歴史PR）
- 地元特産品を販売したい
- 沿線、桜、アジサイの活用

- 休憩施設の整備
- 飲食施設（飲食可能なテーブルやベンチ、カフェ）の設置



2班

- 案内サインの設置
- 駅にモニター付き自動案内装置を設置
- 特産品の販売所の設置
- うどん、そば職人を育成し、店を開く

- 駐車場の整備
- 飲食施設（お酒が飲める所、岩屋湧水でコーヒー）の設置
- アシスト付きレンタルサイクルの設置
- 駅周辺に花を植える

大行司駅

1班

- 観光看板の設置
- 生活必需品の販売所の設置
- コンビニの設置
- 道路を広くする

- グラウンドと校舎の活用
- トイレの整備



2班

- 観光案内板の設置
- 子供や高齢者が遊べる公園をつくる
- 大行司駅のトイレの設置

- エレベーター、スロープカーの設置
- 小石原への交通手段の検討

宝珠山駅

1班

- 鉄道時代の写真を看板にして飾る
- 日常も使える物販所の設置
- 軽トラ市（マルシェ）の開催
- 来訪者のための駐車場の整備

- アスレチックを含む遊具施設の設置
- サイクリング遊歩道と川の管理道とつないだ形で整備
- グラウンドへの階段の設置
- 桜のライトアップ

2班

- 炭坑の歴史がわかるもの（ボタ捨て、駅の歴史、当時の写真）の設置
- 県境を目立つようにする
- 車窓からの景観の整備
- ミニキャンプ場の整備

- 道路からも目立つ遊具の設置
- 二次交通のレンタル基地（スローモビリティ、バイク、自転車）
- 芝生の整備



次回のご案内

第3回 意見交換会
（ワークショップ）

日時 令和5年
2月7日（火）、19:00～

場所 東峰村保健福祉センター
いずみ館多目的ホール

- ワーク
- 基本構想を共有しよう
 - 整備に向けて自分たちで出来ることを考えよう

対象 東峰村民の皆様

申込 事前申込不要
（当日、直接ご来場ください！！）

きてね！ 前回参加してくれた人も、
来れなかった人も、ご近所さん・
お友達を誘ってきてね！



※新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、当日は、マスクの着用・手指の消毒を行い、体調の悪い方（発熱、風邪症状等）は、参加をお控えください。ご協力をお願いいたします。

4 TOHO VILLAGE 東峰村 東峰村役場 ふるさと推進課 (TEL:0946-72-2312、FAX:0946-28-7723) お問い合わせ先

日田彦山線BRT駅
周辺整備計画基本構想

ワークショップ
ニュース vol.2

開催 令和4年11月29日（火）19:00～
東峰村保健福祉センター いずみ館多目的ホール



令和4年11月29日に第2回BRT駅周辺整備基本構想のワークショップを開催しました。この基本構想は来年夏のBRT運行開始に向けて、駅周辺整備の方向性を検討するものです。今回のワークショップには39の方にご参加をいただき、駅に必要な施設や機能、整備のコンセプトについて具体的に考えていただきました。



資料説明

パワーポイントで説明をしました

ワーク：駅周辺に必要な機能を考えよう

事例紹介

話し合う内容

- あったらいいこんなもの
～駅に必要な施設や機能を考えよう～
→付箋に書いてどんどん貼る
- 整備の優先度をつけてみよう
→①が終わったら5つまで選んでペンで○をつける
- 駅ごとの整備コンセプトを考えよう
→どんな駅になったらいいか、話し合い枠の中に書く

事例④ 駅周辺社会実験

滞在場所の創出

飲食・物販スペース

遊具の設置

憩いの場



筑前岩屋、大行司、
宝珠山の各2班の
6テーブルでワーク
しました

●当日のプログラム

- 情報提供（アンケート調査報告、事例紹介）
- ワーク
 - あったらいいこんなもの
 - 整備の優先度をつけてみよう
 - 駅ごとの整備コンセプトを考えよう
- 発表

前回のワークショップで出していた魅力と課題を念頭に置いて、各駅に必要な施設や機能を整理し、その優先度をつけました。また、駅ごとにどんな駅になったらいいかコンセプトを考え、生活・観光など色々な視点から駅を考えることができました。

今回は3駅から1つ
を選んでじっくり
考えました



次ページ▶ワーク意見まとめ



筑前岩屋駅 (棚田親水公園含む)

1班

【コンセプト】
集いの場、村の玄関口



- 観光の視点**
- 案内サインの設置 (村内案内図、観光案内図、歴史 PR)
 - 小石原焼、高取焼の販売所
 - 無人販売店
 - 観光、日常生活等、村の特産品、加工品、新鮮な野菜の売店
 - トンネルを利用したイベント
 - 岩屋駅前の電飾
 - 金剛野橋の写真映えスポットの整備

- 生活の視点**
- 日用品も特産品も扱う店舗
 - 住民の憩いの場
- やってみみたい視点**
- 地元特産品を販売したい
 - ヤマメの養殖場所
 - わさび栽培田

- その他**
- 休憩施設
 - 飲食施設 (飲食可能なテーブルやベンチの設置、カフェ)
 - トイレ設置
 - 駐車場枠、白線ライン
 - 駅前をコンクリートで整備する
 - 自動車充電器の設置
 - 沿線、桜、アジサイ
 - 村の植物地図
 - 駅内にコインボックス、傘

観光客が楽しめるポイントがたくさんだね!



筑前岩屋駅 (棚田親水公園含む)

2班

【コンセプト】
観光拠点



- 観光の視点**
- 案内サインの設置 (観光案内、ウォーキングマップ、公園への誘導)
 - 駅にモニター付き自動案内装置を設置
 - 特産品の販売所
 - 棚田公園のフォト大会開催

- 生活の視点**
- 豆腐屋
 - 岩屋駅にコンビニ
 - 暖かい交流スペース
 - ドッグランの設置
- やってみみたい視点**
- 村の特産品を活かした駅弁の販売
 - 棚田特産品の販売
 - うどん、そば職人を育成し、店を開く

- その他**
- アシスト付きレンタサイクル
 - 駐車場 (大型バス用も)
 - プラグイン充電器
 - 飲食施設 (カフェ、お酒が飲める所、岩屋湧水でコーヒー)
 - 集荷場の移転
 - めがね橋の修景整備 (塗りなおし、遊歩道)
 - 駅周辺に花
 - 人材育成 (運営、担い手)

人が集まるためのイベントや施設が必要だね!



大行司駅

1班

【コンセプト】
体と心の健康づくり



- 観光の視点**
- 観光看板の設置
- 生活の視点**
- 生活必需品の販売所
 - コンビニ

- その他**
- 遊具の設置
 - 中庭の整備
 - 道路を広く
 - 駅前広場
 - 集合店舗
 - プールの活用
 - グラウンドと校舎の活用
 - 階段や土手のライトアップ
 - 駅舎の活用
 - トイレの整備
 - 駐車場の整備
 - 駅前駐車場の設置

誰もが使いやすい整備を考える必要があるね!



大行司駅

2班

【コンセプト】
大行司駅を東峰村の玄関口に



- 観光の視点**
- 観光案内板
 - 大行司観光ルート
 - 観光案内所の設置
 - 桜まつり
- 生活の視点**
- 子供や高齢者が遊べる公園をつくる
 - 遊具の設置
 - よりあいスペース
 - 商店
 - 旧宝珠山中跡に住宅

- やってみみたい視点**
- 大行司駅を有人駅舎にしたい

- その他**
- 飲食施設 (カフェ、うどん屋)
 - 大行司駅のトイレの設置
 - エレベーターの設置
 - スロープカーの設置
 - 小石原への交通手段
 - 坂道を利用したすべり台
 - 駅までの交通手段

大行司駅周辺で楽しめる場所ができるといいね。



宝珠山駅

1班

【コンセプト】
美しい景観、県境の駅で遊ぼう



- 観光の視点**
- 鉄道時代の写真を看板にして飾る
 - 日常も使える物販所
 - 桜のライトアップ
 - 軽トラ市 (マルシェ)
 - 竹林は一部残して景観をつくる

- その他**
- 若者が活動する場 (スケートボードの練習場など)
 - アスレチックを含む遊具施設
 - 川で水遊びや釣りができる場所の整備
 - サイクリング遊歩道と川の管理道とつないだ形で整備
 - グラウンドへの階段の設置
 - 来訪者のための駐車場
 - 植樹 (桜や紅葉樹など) を計画的に行っていく

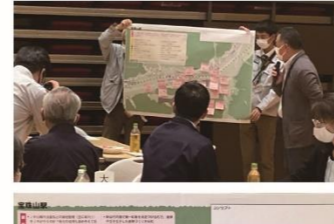
駅周辺の活用アイデアがたくさんあるね!



宝珠山駅

2班

【コンセプト】
歴史を学び、自然と遊ぶ



- 観光の視点**
- 炭坑の歴史がわかるもの (ボタ捨て、駅の歴史、当時の写真)
 - 各駅でモチーフを交えてとほっぴの等身大人形を設置
 - 県境を目立つようにする
 - 3駅を PR (宝や福など縁起のよさ)
 - 車窓からの景観の整備
 - おほしさま (福井神社) の神輿展示
 - グラウンド法面の桜の視認性向上
 - 人とかかしてお出迎え
 - ふるさとフェア
 - フォトコンテスト
 - グランドゴルフ
 - 秋祭り

- その他**
- グラウンドへの連絡通路
 - 道路からも目立つ遊具の設置
 - 川への降り口の整備
 - 二次交通のレンタル基地 (スローモビリティ、バイク、自転車)
 - キッチンカースペースの整備 (電源タップ設置)
 - ミニキャンプ場
 - 芝生の整備
 - 各駅に自動販売機

祭りや遊具、キャンプなど楽しい施設やイベントがたくさんだね!





【第3回】

- 開催日時：2023年（令和5年）2月7日（火）19：00～
 開催場所：東峰村保健福祉センター いずみ館多目的ホール
 プログラム：1. 整備基本構想（案）について
 2. ワーク「基本構想を確認しよう」
 3. 発表
 4. 今後のスケジュール



今後のスケジュール

今後のスケジュールについて

- 2月13日（月）～ パブリックコメント実施
- 4月15日の広報配布に合わせて概要版配布予定
- 令和5年度～ 整備基本計画の策定
※より具体的に整備内容を検討します
- 令和6年度以降 整備開始

パブリックコメントへのご意見をお待ちしております。

前回のワークショップで出していただいた、駅に必要な施設や機能をもとに、事務局で基本構想を作成し、皆さんにご意見をいただきました。駅ごとに、より具体的にどのような機能を持たせるかを提示することで、足りていなかった視点や疑問に思うことを新たに追加し、より良い構想案を作っていました。



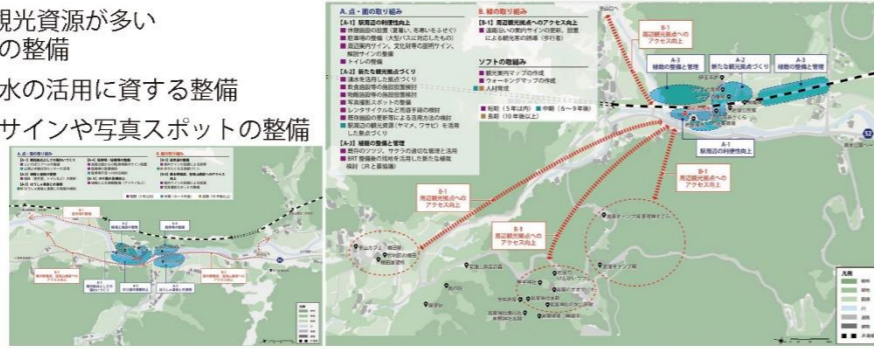
基本構想図

第3回のワークショップをうけて、基本構想図を作成しました。

（棚田親水公園）
筑前岩屋駅

整備コンセプト：自然と水と歴史を楽しむ、東峰村の観光拠点

- ・筑前岩屋駅は、周辺に観光資源が多い
→周辺観光拠点としての整備
- ・岩屋湧水がある →湧水の活用に資する整備
- ・眼鏡橋に近い →案内サインや写真スポットの整備
- ・植栽の管理
→植栽の管理と活用の継続
- ・飲食・物販施設の検討
→施設設置の検討



大行司駅

整備コンセプト：誰もが便利で使いやすい東峰村の交通拠点

- ・BRT を日常使う上での利便性が高い
→日常使いに必要な施設の整備
- ・乗り場までの高低差がある
→アクセスの改善と眺望を活かした整備
- ・ホームが残っている →活用方法の検討と整備
- ・小石原へのアクセス効率が良い
→交通拠点としての整備
- ・周辺に店舗や商店がある
→観光資源としての活用と案内サインの整備



宝珠山駅

整備コンセプト：誰でも楽しい！県境の駅

- ・3 駅の中で敷地が一番広い
→広場や遊具など駅そのもので楽しむ整備
- ・県境の駅である →県境の駅のPRのための整備
- ・宝珠山グラウンドに近い
→グラウンドを活用したイベントとの連携
- ・BRT 専用道への出入口
→BRT そのものを楽しむための整備
- ・桜並木 →桜の管理と老木の更新、活用



今回で全3回のワークショップが終了しました。寒い中でしたが、毎回多くの村民の方にご参加いただけたこと、活発な議論を行っていただけたこと、誠にありがとうございました。来年度からは具体的な整備についての検討に入っていきます。検討の内容につきましては広報等を通じて皆さんにお知らせしていく予定です。今後も何かとご協力をいただく場面が多くあると思いますが、ご支援のほどよろしくお願いいたします。

今年の夏にはいよいよBRTが走り始めるよ！
詳しいことは分かり次第で皆さんにお知らせしていきます。
ご協力をお願いします！



日田彦山線BRT駅
周辺整備計画基本構想

ワークショップ
ニュース vol.3

開催 令和5年2月7日(火) 19:00~
東峰村保健福祉センター いずみ館多目的ホール



令和5年2月7日に第3回BRT駅周辺整備基本構想のワークショップを開催しました。この基本構想は今年の夏のBRT運行開始に向けて、駅周辺整備の方向性を検討するものです。今回のワークショップには47人の方にご参加をいただき、各駅の整備に向けたコンセプトと整備計画基本構想(案)を確認した後に、不足していると思う部分や、疑問点等について考えていただきました。



資料説明

パワーポイントで説明をしました



- 今後のスケジュールについて
- 2月13日(月)～ パブリックコメント実施
 - 4月15日の広報配布に合わせて概要版配布予定
 - 令和5年度～ 整備基本計画の策定
※より具体的に整備内容を検討します
 - 令和6年度以降 整備開始
- パブリックコメントへのご意見をお待ちしております。



筑前岩屋、大行司、宝珠山の各2班の6テーブルでワークしました

初めてご参加いただいた方もいて、活発な意見交換ができました

- 当日のプログラム
1. 整備基本構想(案)について
 2. ワーク「基本構想を確認しよう」
 3. 発表
 4. 今後のスケジュール

前回のワークショップで出していたいただいた、駅に必要な施設や機能をもとに、事務局で基本構想を作成し、皆さんにご意見をいただきました。駅ごとに、より具体的にどのような機能を持たせるかを提示することで、足りていなかった視点や疑問に思うことを新たに追加し、より良い構想案を作ることができました。



次ページ▶ワーク意見まとめ



筑前岩屋駅（棚田親水公園含む）1班

足りないと思うこと

- 岩屋駅周辺の地図とルート（道順）表記
- サイン板の設置、岩屋の歴史、トンネルの歴史、地域の歴史を表示
- ガラン様、アミダ堂など地元の人を知っている、他から来た人は知らない。説明板を！
- 駐車場の整備、トイレの整備
- 古い建物の撤去（集荷場・加工場）
- 県道 56 号線からの岩屋駅周辺の撮影ポイントの紹介
- 技術の継承のための施設が欲しい、漬物、お菓子、オバイケごはん、高菜漬等の生産・宣伝の継続を
- 花で魅せる道の整備

ご意見

- 岩屋神社のPRを岩屋駅の近くに設置
- 消防格納庫を販売所にする
- 駅販売店、加工部との併用
- ワサビ、ヤマメを作って販売する
- トンネルの慰霊塔が駅からはずれすぎる。大事に
- 桜並木の延長



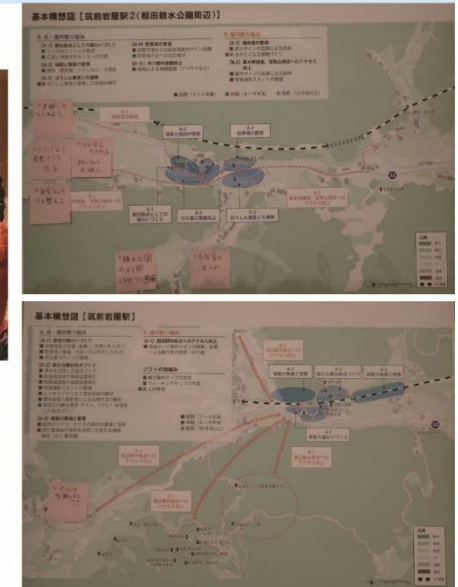
筑前岩屋駅（棚田親水公園含む）2班

足りないと思うこと

- 景観に力を入れよう
- 安全な河川を整える
- 親水公園の利用に向けての整備
- 古民家の手入れ

ご意見

- プールは短期でやるべき
- さりげなく商業施設をつくる
- レンタサイクル、ステーションがほしい



大行司駅 1班

足りないと思うこと

- 案内サイン
- 階段とスロープにせめて手すりをつける、階段の高さを揃える、舗装の整備
- 高木神社を抜けて川沿いの道に出るルートを追加（国道を歩くのは危ない）

ご意見

- トイレを一番に整備する。洋式で！簡易でいいので水洗で
- 乗り場まで楽に行けるようにならないと乗らない
- いぶき館まで赤点を伸ばす
- A-2 範囲が広すぎる。ホームは階段の上くらいまでしかない
- 大行司公民館跡に公園が出来るはずなので追加しておいたら
- 高木神社のトイレを入れておく

疑問に思うこと

- トイレは必要だけど管理はどうする？



大行司駅 2班

足りないと思うこと

- いぶき館への周遊ルート
- 駅までのアクセス、カラー舗装で誘導
- 文化活動
- 駅をつなぐウォーキングコース、ベンチなどの整備
- 舟つきの場跡の遺跡活用
- 駐車場の整備（駐輪場）
- 大行司で降りてもらうような駅前活性化、小石原への最寄り駅として活用
- 駅までのアクセス、ケーブルカー

ご意見

- 旧小中学校を飲食、買い物の拠点にする
- 待合用の図書館
- 傾斜を活用した遊び場、すべり台・草スキー・草そり
- レンタサイクル（電動アシスト付き）
- トウクトウク



宝珠山駅 1班

足りないと思うこと

- 残されたレールに木製の汽車をつくり展示
- 駅舎以外の箱物でイベントを行う
- 子どもから高齢者まで使いやすいトイレ整備、駅舎（コミセン）の改修
- 駅長
- 木工製品の展示、写真集
- 植樹は（花も含めて）四季を彩るものを（桜に限らず）、あじさい、秋桜、菜の花など
- 屋内型遊べる施設（児童・幼児向け）
- 木の図書館
- 木工を活かした体験
- 木工塾のPR強化、木工体験、木工製品の多品種少量生産
- 木工の担い手⇒空家（住宅）の整備
- A-5 景観整備、ヤギ牧場、養鹿牧場など

- A-5 で周辺の田の持主に相談をして、一面の花畑をつくり、イベント等も考えていく
- BRT 開業前に村民ボランティアでの除草活動の実施
- コンビニ（外・内向き）葉、総菜、弁当、アンジュ横の広場、7～23時
- 交通量多い、トラック等も止められる店は村民にとっても急務
- 遊具⇒鉄道に関わるものが BEST、古い列車を配置など、鉄道公園
- 県境の BAR
- キャンピングカー、キッチンカーの改造
- 木製汽車展示
- B-1 で階段を作成するのであれば、その階段を利用したすべり台等を公園遊具と合体

ご意見

- 交通利用だけの BRT ではなく、わざわざ乗りたくなるような魅力や特典がほしい
- まんじゅうのおみやげ販売
- 大鶴側との意見交換もしたい

疑問に思うこと

- 九州ではココだけの○○
- キーコンテンツ、カラーコンテンツ
- 県境は PR すべきだが、想像を超える「県境」を！
- 駅周辺全体を公園指定へ



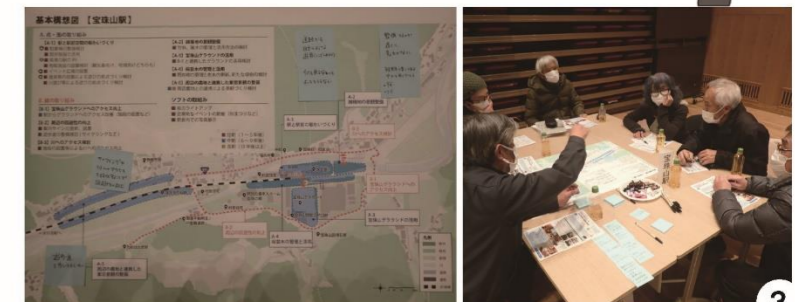
宝珠山駅 2班

足りないと思うこと

- 道路から目立つような遊具（シンボリックな）。何も見えないと寄ってもらえない
- サイクリングや川へのアクセスを強化することで回遊性の向上

ご意見

- 遊歩道を歩いてもらいたい
- 整備するのが遅くて魅力がない
- 短期と書いてある中でも桜や川は早くできる





2. アンケート調査の詳細

(1) JR九州ウォーキング 2022 秋 参加者アンケート・東峰村応援団 団員アンケート

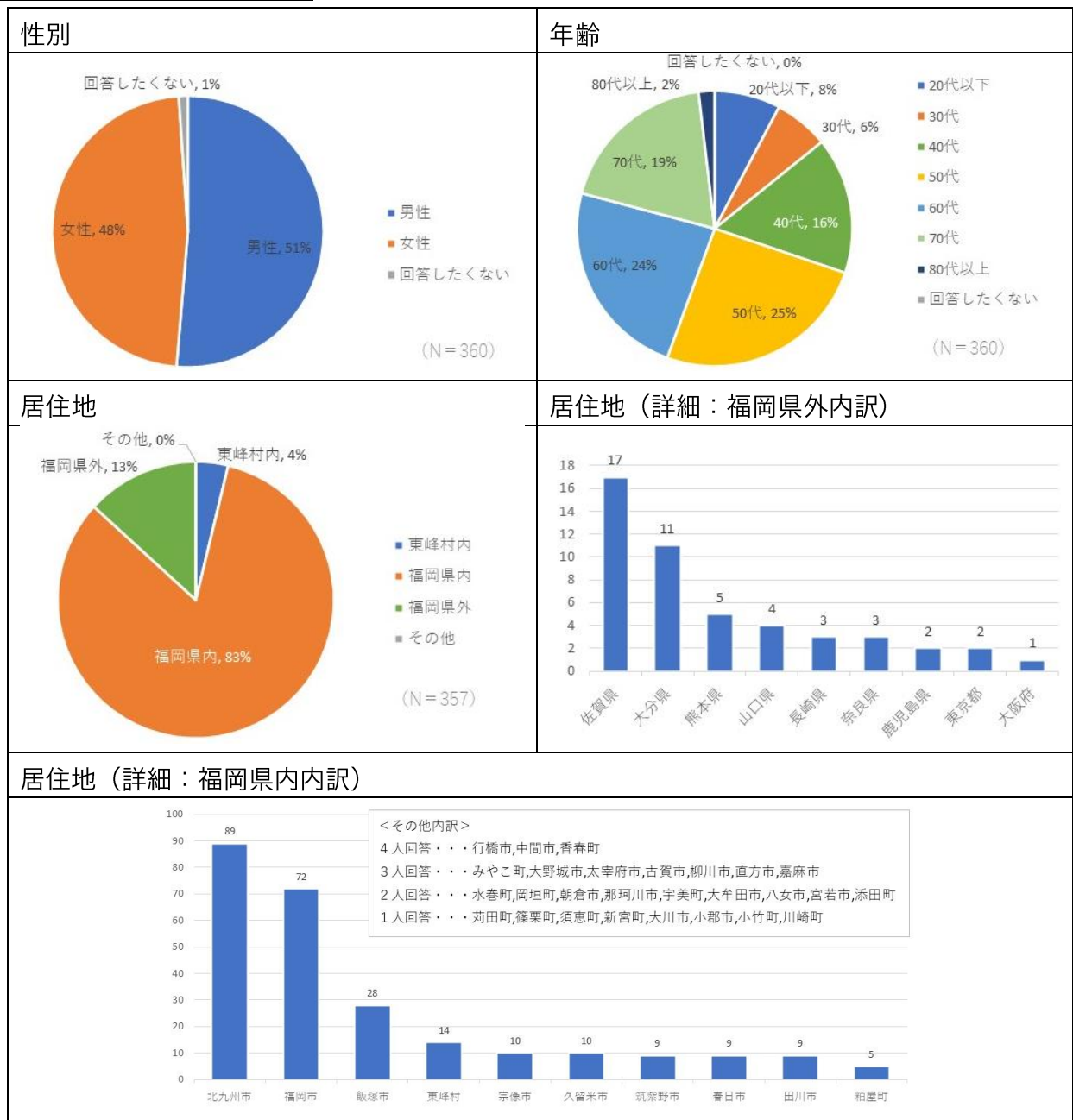
期 間：2022年（令和4年）10月28日～11月13日

（JR九州ウォーキングは10月30日のみ実施）

対象者：JR九州ウォーキング 2022 秋 参加者及び東峰村応援団 団員

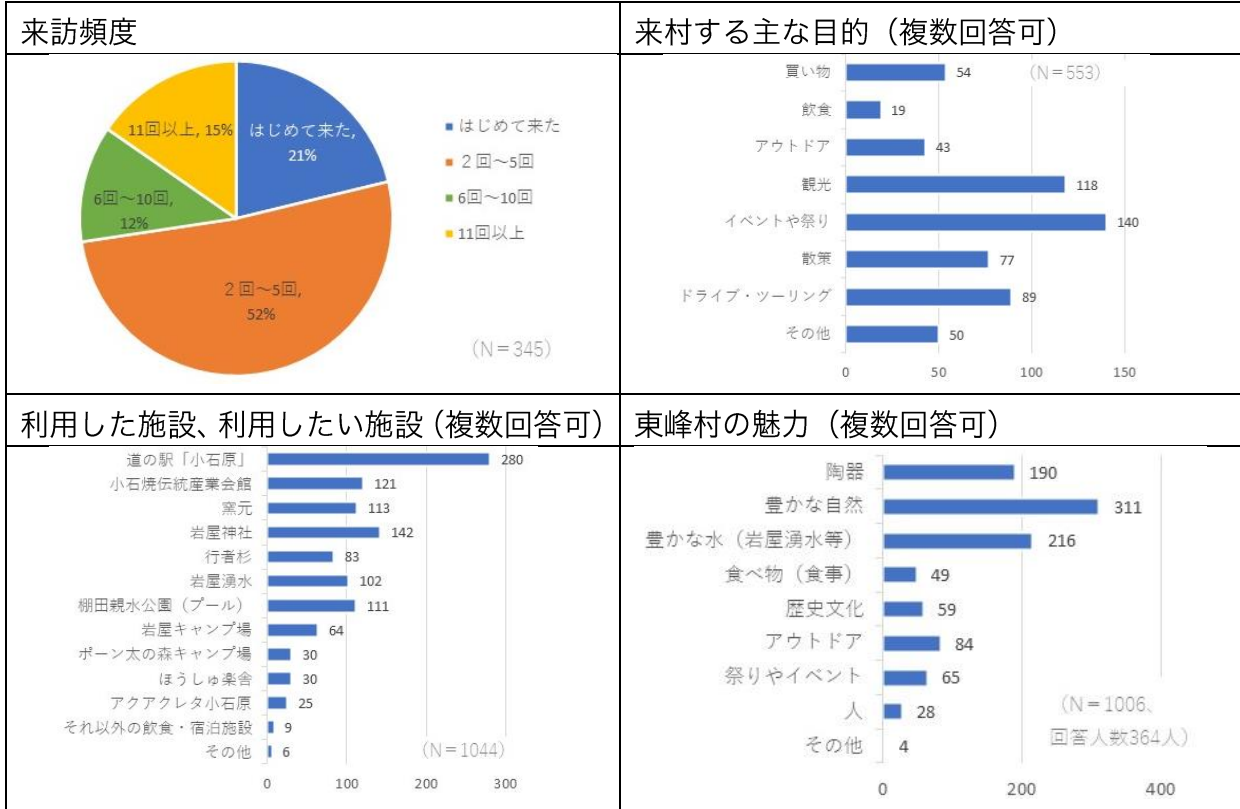
回収数：376件

1 あなたのことについて





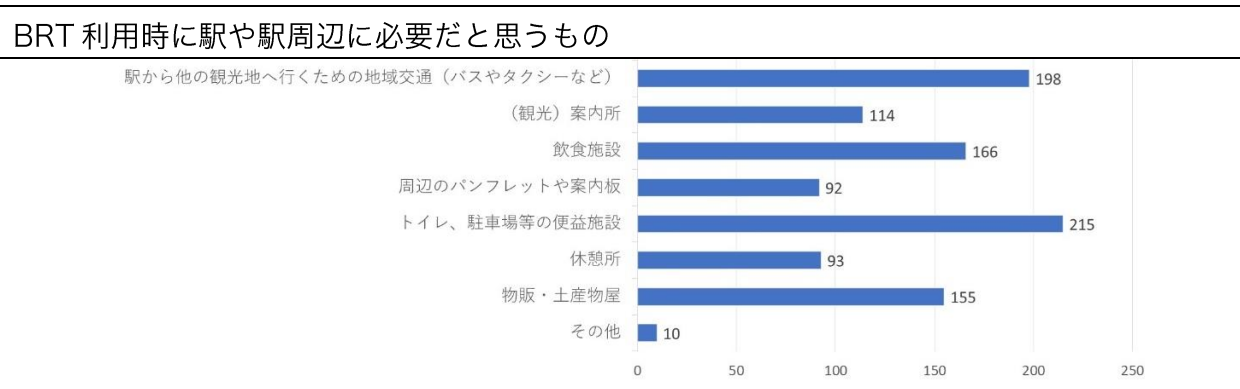
2 東峰村について



3 日田彦山線 BRT について



4 BRT 駅の整備について





(2) 東峰学園 児童・生徒対象アンケート

期 間：2022年（令和4年）10月20日～10月28日
 対象者：東峰学園児童生徒 全員
 回収数：112件（1～3年生：26件、4年生以上：86件）
 ※1～3年生、4年生以上の2種類のアンケートを作成

学年	居住地
<p>BRTの利用意向（1～3年生）</p>	<p>BRTの利用意向（4年生以上）</p>
<p>理由（1～3年生）</p> <p>★乗ってみたいと思った方の理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ・乗ったことがないから ・楽しそうだから ・BRTの中が見たい ・景色がきれいそう ・眼鏡橋の電車に乗ったことがないから <p>★乗ってみたいと思わない方の理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ・興味がない ・コロナだから <p>★わからない方の理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どんなものかわからない ・ちょっと怖い 	<p>理由（4年生以上）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どんなものが気になる ・景色が見たい ・試しに乗ってみたい ・便利そうだから ・眼鏡橋をわたってみたい ・乗ったことがないから ・友達と遊びに行きたい ・家と駅が近い ・乗る機会があるかわからない ・いつ利用したらよいかわからない ・BRT以外の交通手段がない



東峰村の自慢できるもの	おすすめしたい物や場所			
<p>(N=357、回答人数112人)</p>	<p>(N=557)</p>			
東峰村のいいところ・好きなところ	困っていること			
<ul style="list-style-type: none"> ・東峰学園 ・夏祭り ・自然がきれい ・水がきれい ・ホテルがいっぱいいる ・めがね橋がある ・お米や果物、野菜がおいしい ・地域の人がやさしい ・窯元が沢山ある ・焼き物の模様がいい <p style="text-align: right;">など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・お店がない ・野生動物（シカやイノシシなど）がいる ・親水公園のプールに入りたいけど入れない ・工事用トラックが多い ・工事をしている場所が多いから沢山信号で止まる ・習い事や買い物に行くのが30分以上かかる ・すぐに日陰になること ・道に草や木があって怖い ・小石原の交通手段が少ない ・道の駅にいるバイクの音がうるさい <p style="text-align: right;">など</p>			
東峰村にあったらいいなと思うもの				
<table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="vertical-align: top;"> <ul style="list-style-type: none"> ・遊具のある公園、大きな公園 ・アスレチック ・噴水 ・ショッピングモール ・コンビニ ・スーパー ・百円ショップ ・文房具屋 ・レストラン ・寿司屋 </td> <td style="vertical-align: top;"> <ul style="list-style-type: none"> ・マクドナルド ・びっくりドンキー ・アイス屋 ・駄菓子屋 ・ドーナツ屋 ・ペットショップ ・猫カフェ ・カラオケ施設 ・ガチャガチャの森 ・ゲームセンター </td> <td style="vertical-align: top;"> <ul style="list-style-type: none"> ・映画館 ・温泉、足湯 ・水族館 ・古本屋 ・図書館 ・博物館 ・病院 ・薬局 ・銀行 <p style="text-align: right;">など</p> </td> </tr> </table>		<ul style="list-style-type: none"> ・遊具のある公園、大きな公園 ・アスレチック ・噴水 ・ショッピングモール ・コンビニ ・スーパー ・百円ショップ ・文房具屋 ・レストラン ・寿司屋 	<ul style="list-style-type: none"> ・マクドナルド ・びっくりドンキー ・アイス屋 ・駄菓子屋 ・ドーナツ屋 ・ペットショップ ・猫カフェ ・カラオケ施設 ・ガチャガチャの森 ・ゲームセンター 	<ul style="list-style-type: none"> ・映画館 ・温泉、足湯 ・水族館 ・古本屋 ・図書館 ・博物館 ・病院 ・薬局 ・銀行 <p style="text-align: right;">など</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・遊具のある公園、大きな公園 ・アスレチック ・噴水 ・ショッピングモール ・コンビニ ・スーパー ・百円ショップ ・文房具屋 ・レストラン ・寿司屋 	<ul style="list-style-type: none"> ・マクドナルド ・びっくりドンキー ・アイス屋 ・駄菓子屋 ・ドーナツ屋 ・ペットショップ ・猫カフェ ・カラオケ施設 ・ガチャガチャの森 ・ゲームセンター 	<ul style="list-style-type: none"> ・映画館 ・温泉、足湯 ・水族館 ・古本屋 ・図書館 ・博物館 ・病院 ・薬局 ・銀行 <p style="text-align: right;">など</p>		



3. パブリックコメントの実施

(1) 実施概要

目 的：東峰村 BRT 駅周辺整備計画基本構想（案）についての意見公募

実施期間：2023 年（令和 5 年）2 月 13 日（月）～2 月 26 日（日）

閲覧場所：村ホームページ、

役場窓口（宝珠山庁舎ふるさと推進課、小石原庁舎住民福祉課）

提出方法：持参（宝珠山庁舎ふるさと推進課、小石原庁舎住民福祉課）、

郵送、FAX、グーグルフォームで回答

(2) 結果の公表

パブリックコメントの結果については、東峰村公式ホームページ上に公表しています。



4. 用語解説

【用語（初出ページ）】

用語の解説

あ行

【アウトドア（P8）】

アウトドア・アクティビティの略。屋外で行う活動の総称で野外活動ともいう。

【域外（P1）】

ある一定の範囲の外。区域の外。

か行

【基本構想（P1）】

施策や事業における基本概念。現状や課題、諸条件を整理し、より実現性のある計画を策定するための方針。

【協働（P26）】

共通の目的を達成するため、色々な団体や個人が対等な立場で協力、協調する関係。

【国立社会保障・人口問題研究所（P7）】

社会保障や人口問題に関する調査及び研究を通じて、国民の福祉向上に貢献することを目的として設立された組織。

【コンセプト（P18）】

概念。全体を貫く基本的な考え方のこと。

さ行

【サイン（P19）】

看板、標識、屋外広告板などのこと。

【就業人口（P8）】

就業者の集まり。就業者とは15歳以上で収入を得ることを目的とした仕事に従事している有業者のこと。

た行

【地域交通（P7）】

通勤・通学・通院・買物など住民の日常生活に必要な不可欠な目的のために運行する、既存の公共交通を補完する交通手段。

【東峰村応援団（P5）】

東峰村を応援し、地域活性化への取り組みに協力していただける、村内外の人を集めた組織。

は行

【パブリックコメント（P5）】

国や行政機関が計画等を定める際に、事前に広く一般から意見を募ること。

【ビジョン（P1）】

未来への展望、構想、未来像。

【BRT（bus rapid transit）（P1）】

バスを基盤とした大量輸送システムで定時性や輸送能力の向上を目的とする。

【日田彦山線BRT（P6）】

日田彦山線添田駅～夜明・日田駅間を運行するBRT。彦山駅～宝珠山駅は専用道、その他の区間は一般道を走行する。愛称は「BRTひこぼしライン」。

【福岡県日田彦山線沿線地域振興計画（P1）】

BRTを契機に、沿線地域の持続的な発展を持していくために、添田町、福岡県と連携して取り組むための方策をまとめた計画。

わ行

【ワークショップ（P5）】

参加者主体の体験型講座。意見交換会。

東峰村 BRT 駅周辺整備基本構想

2023 年（令和 5 年）3 月

発行：東峰村

〒838-1792

福岡県朝倉郡東峰村大字宝珠山 6425 番地

編集：ふるさと推進課



TOHO VILLAGE

東峰村